

令和5(2023)年度 1年現代の国語 シラバス

教科名	国語	科目名	現代の国語	対象学年	1年 全コース
単位数	2単位	教科書	新編現代の国語 (東京書籍)		

◎指導の目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>
--

◎評価の観点の趣旨

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

◎評価の方法

本校に於ける観点別評価の基準に鑑み、各単元において適宜行われた小テストや課題、その他の提出物及び授業への参加態度と定期考査の成績を総合して評価する。
--

◎授業計画

領域・教材名 ページ数・配当時間	学習目標	学習活動 (*は指導上の留意点など)	評価規準
読む 水の東西 P33 4時間	<ul style="list-style-type: none"> ・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。 ・要旨をまとめ、文章の要点を把握する。 	<p><第1時></p> <p>1「鹿おどし」と「噴水」の違いに着目して全文を通読する。</p> <p>2本文が、日本と西洋の具体例を挙げ、分かりやすい文章となっていることを理解し、対比を通して論じていることを押さえる。(評論の読み方)</p> <p><第2時></p> <p>3「鹿おどし」の具体的な動きと、「鹿おどし」を見て筆者が感じ取ったことを表現に即して読み取る。</p> <p>4「鹿おどし」に対するニューヨークの人々の反応と西洋の噴水の様子を表現に即して読み取る。</p> <p><第3時></p> <p>5日本人が噴水を作らなかった理由をつかみ、「鹿おどし」(日本人)と「噴水」(西洋人)の水に対する捉え方の違いを理解する。</p> <p>6水に対する日本人の感性を筆者の考え方に沿って捉え、日本人の感性の特質と「鹿おどし」の関係を理解する。</p> <p><第4時></p> <p>7文章の内容を的確に捉えるために「やってみよう……文章の要旨をまとめてみよう」を通読する。(やってみよう……文章の要旨をまとめてみよう)</p> <p>8日本文化について興味や関心を持ったことを、二分程度でスピーチする。(言語活動)</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項 (1)</p> <p>ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>オ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>C 読むこと (1)</p> <p>ア「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>[主] 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。</p>
書く 集めた情報の内容を検討して意見文を書こう P44	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を集めて検討し、構成を工夫して意見文を書く。 	<p><第1時></p> <p>1「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2「課題」(P48)の中から一つを選び、身近な社会生活</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項 (1)</p> <p>オ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p>

4時間		<p>や、新聞・テレビのニュースなどから、興味・関心のあ ることをメモに書き出し、テーマを決める。</p> <p>3自分の決めたテーマに沿って、自分の経験を振り返っ たり、人から話を聞いたり、実際に現地を観察したりし て、関連する情報を集める。</p> <p>4「情報メモの例」を参考に、集めた情報をメモにまとめ る。</p> <p><第2時></p> <p>1集めた情報の内容について、意見文に使えるものか どうか、詳しく検討する。</p> <p>2情報をさまざまな角度から吟味したうえで、意見文に 使う情報を選択する。</p> <p><第3時></p> <p>1「意見メモの例」を参考に、選択した情報と自分の意見 をメモにまとめる。</p> <p>2文章の構成を考え、序論・本論・結論の三段型などで 構成メモを作る。</p> <p>3構成メモをもとに、意見文を書く。「読みやすい文章表 現のポイント」に留意して、分かりやすい文章表現を 心がける。</p> <p>4書いた文章を読み返して、「推敲の観点」をもとに推敲 をする。</p> <p><第4時></p> <p>1推敲した文章を清書する。班の中で互いの意見文を 読み合い、文章構成や表現の仕方について意見交 流を図る。</p> <p>2「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認 する。</p>	<p>情報の扱い方に関する事項 (2)</p> <p>ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している</p> <p>エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深 めている。</p> <p>オ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理 解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <p>A 話すこと・聞くこと(1)</p> <p>イ 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明 確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考 えるなど、話の構成や展開を工夫している。</p> <p>ウ 「話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資 料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得ら れるように表現を工夫している。</p> <p>A 話すこと・聞くこと(2)</p> <p>イ 報告や連絡、案内などのために、資料に基づいて必要な事 柄を話したり、それらを聞いて、質問したり批評したりしてい る。</p> <p>B 書くこと(1)</p> <p>ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、 集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを 明確にしている。</p> <p>B 書くこと(2)</p> <p>ウ 調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめて いる。</p> <p>C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などに ついて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>[主] 積極的にさまざまな課題に興味や関心を持ち、選ん だテーマに関連する情報を集め、学習の見通しをもって 情報の妥当性を吟味しながら、自分の意見を明確にし、 意見文を書く活動をしようとしている。</p>
読む ルリボシカミキリの青 P12 3時間	・筆者の少年時代の体験に ついて書かれた文章を読 み、自分に当てはめて考 える。	<p><第1時></p> <p>1本文を通読して、内容を把握する。</p> <p>2筆者の熱中したことを表現に即して捉え、理解する。</p> <p><第2時></p> <p>3「そんな気持ち」の内容を捉え、「好きなことがあること がなぜ大切なのかを理解し、筆者の主張を読み取る 。</p> <p><第3時></p> <p>4「センス・オブ・ワンダー」の意味から、筆者の「原点」に ついて理解し、第三段の内容を捉える。</p> <p>5本文の内容を踏まえて、自分自身の興味や関心につ いて考え、スピーチをする。(言語活動)</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項 (1)</p> <p>ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解して いる。</p> <p>ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章 の中で使っている。</p> <p>エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語 句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及 び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通し て、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>オ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方につ いて理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>A 話すこと・聞くこと(1)</p> <p>ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様 々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討し ている。</p> <p>C 読むこと (1)</p> <p>ア 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要 点を把握している。</p> <p>[主] 粘り強く筆者の主張の要旨を捉え、今までの学習を生か して自分の興味・関心を確認し、考えをまとめ、伝えようとし ている。</p>

<p>話す・聞く 気になるニュースについて話そう P18 4時間</p>	<p>・情報を整理し、内容や構成に注意して話す。</p>	<p><第1時> 1「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。 2実社会のニュースから伝えたい話題を決める。話題は、「課題」(P22)に示されているように、「好きなこと」「好きなもの」に関するものか、「最近気になること」に関するものを選ぶ。 3複数のメディアから話題についての情報を収集する。</p> <p><第2時> 1収集した情報を整理し、発表の構成を考えて発表メモを作る。「発表メモの例」を参考にして、事実と自分の意見を区別してまとめる。 2「話し方のポイント」を参考に、発表の練習をする。</p> <p><第3時> 1「班の中でニュースを伝え合う例」を参考に、司会などの役割を決め、班の中でニュースを伝え合う。 2聞き手は「聞き方のポイント」をもとに、メモを取りながら聞き、疑問点や詳しく知りたい点を質問して理解を深める。</p> <p><第4時> 1同じ班の人から聞いたニュースを、別の班の人に伝える。 2「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	<p>[知技] 言葉の特徴や使い方に関する事項 (1) イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 オ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>[思判表] A 話すこと・聞くこと (1) ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 B 書くこと (1) ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 B 書くこと (2) ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見や考えを論述する活動。【主】積極的に情報の収集や整理を行い、学習課題に沿って理解しやすい内容構成や展開を工夫して、自分の考えを発表し、論ずる活動をしようとしている。</p>
<p>話す・聞く 分かりやすい説明をしよう P50 4時間</p>	<p>・目的や相手に合った分かりやすい説明をする。</p>	<p><第1時> 1「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。 2『「夏休みをどのように過ごしたか」の説明」A・Bを比べる活動を通して、「分かりにくい説明」と「分かりやすい説明」の違いを考える。</p> <p><第2時> 1「目的意識」「論理性」「相手意識」の三つの観点から「分かりやすい説明」のポイントを理解する。 2「自分の学校の行事を説明する」という設定で、「説明内容を整理する手順」に従って、「リストアップ」「カテゴライズ」「ナンバリング」の順に説明内容を整理する。</p> <p><第3時> 1整理した「自分の学校の行事」について、3人程度のグループに分かれてロールプレー(役割演技)を行う。「ロールプレーの仕方の例」を参考に交代で行い、聞き手役は相互評価表を書く。 2グループでの説明を振り返り、相互評価表などをもとに評価点、改善点などを話し合う。</p> <p><第4時> 1「課題」(P54)の中から一つを選び、これまで学習した手順に従って、課題に即したロールプレーを行う。 2「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>* Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>[知技] 言葉の特徴や使い方に関する事項 (1) イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[思判表] A 話すこと・聞くこと (1) イ 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ウ 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 A 話すこと・聞くこと (2) イ 報告や連絡、案内などのために、資料に基づいて必要な事柄を話したり、それらを聞いて、質問したり批評したりしている。 B 書くこと (1) ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 [主] 積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展</p>

			開を工夫して話そうとしている。
読む 異なる種類の文章を 読み比べよう P56 2時間 ▼考えよう ……グラフや写真の読 み取り方 P63 2時間	・複数の文章を読み比べ、 自分の考えを深める。 ・図表や画像から必要な情 報を読み取る。	<p><第1時></p> <p>1「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2論理的な文章の種類を知り、複数の文章を比較する際の「読み比べのポイント」を理解する。</p> <p><第2時></p> <p>3図表や画像を読み取る観点を理解する。(考えよう……グラフや写真の読み取り方)</p> <p><第1時></p> <p>1「課題」(P62)の中から一つを選び、複数の文章について読み取ったことを表に整理する。</p> <p>2表に整理した内容と、それに対する自分の考えを発表し合う。</p> <p><第2時></p> <p>3「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>2022/0412 ここまでやった!!</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項 (1)</p> <p>ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。</p> <p>[思判表]</p> <p>A 話すこと・聞くこと (1)</p> <p>イ 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</p> <p>ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p>C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>C 読むこと (2)</p> <p>イ 異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりしている。</p> <p>[主] 進んで複数の文章を読み比べることを理解し、学習課題に沿って異なる種類の文章の書き手の意図を解釈し、自分の考えを深め、発表しようとしている。</p>
書く レポートの書き方を 学ぼう・便覧(浜松 書店) P398～403 4時間	・情報を集めて検討し、構成 を工夫して意見文を書く。	<p><第1時></p> <p>1身近な社会生活や、新聞・テレビのニュースなどから、興味・関心のあることをメモに書き出し、テーマを決める。</p> <p>2自分の決めたテーマに沿って、自分の経験を振り返ったり、人から話を聞いたり、実際に現地を観察したりして、関連する情報を集める。</p> <p>3「情報メモの例」を参考に、集めた情報をメモにまとめる。</p> <p><第2時></p> <p>4集めた情報の内容について、意見文に使えるものかどうか、詳しく検討する。</p> <p>5情報をさまざまな角度から吟味したうえで、意見文に使う情報を選択する。</p> <p>6「意見メモの例」を参考に、選択した情報と自分の意見をメモにまとめる。</p> <p>7文章の構成を考え、序論・本論・結論の三段型などで構成メモを作る。</p> <p><第3時></p> <p>8構成メモをもとに、意見文を書く。「読みやすい文章表現のポイント」に留意して、分かりやすい文章表現を心がける。</p> <p>9書いた文章を読み返して、「推敲の観点」をもとに推敲をする。</p> <p><第4時></p> <p>10推敲した文章を清書する。班の中で互いの意見文を読み合い、文章構成や表現の仕方について意見交流を図る。</p> <p>11「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項 (1)</p> <p>ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>情報の扱い方に関する事項(2)</p> <p>ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している</p> <p>[思判表]</p> <p>B書くこと(1)</p> <p>ア 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>B書くこと(2)</p> <p>イ 読み手が必要とする情報に応じて手順書や紹介文などを書いたり、書式を踏まえて案内文や通知文などを書いたりしている。</p> <p>[主] 積極的にさまざまな課題に興味や関心を持ち、選んだテーマに関連する情報を集め、学習の見通しをもって情報の妥当性を吟味しながら、自分の意見を明確にし、意見文を書く活動をしようとしている。</p>

		認する。	
読む スキマが育む都市 の緑と生命のつながり P68 3時間	・身近な植物を観察してきた 成果を述べる文章を読み 、提示された新しい視点 について理解する。	<p><第1時> 1接続語と段落構成に注目しながら、本文を通読する。 2植物の生長の特性を捉え、都市部においてスキマの植物が豊富な理由をまとめる。</p> <p><第2時> 3「都市部のスキマ」と「都市部の公園」の違いを、生態系に果たす役割という観点を押さえながら読み取り、整理する。</p> <p><第3時> 4「都市部の緑の在り方」についての筆者の主張を読み取り、まとめる。</p>	<p>[知技] 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 オ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>[思判表] C 読むこと(1) ア 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 イ 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 粘り強く都市部の緑の在り方を述べた筆者の主張を理解し、学習課題に沿って生態系という新しい視点と資料との関連性を捉えながら自分の考えを深めようとしている。</p>
話す・聞く 情報を整理しながら 話し合おう P87 4時間	・話し合いの進め方を工夫し 、考えを深める。	<p><第1時> 1「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ 2話し合いには種類があることを理解し、「S高校の生物部」の話し合いの例を参考に、「企画会議」の進め方を確認する。 3「課題」(P92)の中から一つを選び、グループに分かれて司会や記録係などの役割を分担し、話し合いの目的と、必要とする事前準備を確認のうえ、次時までに必要なアイデア案などを考えてくる。</p> <p><第2時> 1グループで、各自のアイデア案の概要を確かめるとともに、時間配分などの話し合いの進め方を確認する。 2提案者が各案を説明し、質疑応答をしながら検討事項を表に整理し、話し合う。</p> <p><第3時> 1話し合いの結果、決まったことや今後の課題を整理し、確認する。 2前時の話し合いについて、「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p><第4時> 1グループごとに、話し合いの結果をクラス全体に発表し、成果と課題を共有する。</p>	<p>[知技] 情報の扱い方に関する事項(2) エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>[思判表] A 話すこと・聞くこと(1) エ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 オ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。</p> <p>A 話すこと・聞くこと(2) ウ 話し合いの目的に応じて結論を得たり、多様な考えを引き出したりするための議論や討論を、他の議論や討論の記録などを参考にしながら行っている。</p> <p>[主] 積極的に「企画会議」の進め方に沿って論点を共有し、学習の見通しをもって提案内容を整理しながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。</p>
読む 鍋洗いの日々 P94 3時間	・自分の道を切り開いた筆者 の体験談から、仕事に対 する思いを読み取る。	<p><第1時> 1筆者の調理場での体験と必死の行動に注目し、その結果周囲がどのように変化したかを確認しながら、本文を通読する。</p> <p><第2時></p>	<p>[知技] 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章</p>

		<p>2筆者の「思わく」や培った経験からの自負と、筆者が勤めたホテルの調理場の現実や職場環境をまとめ、現実の厳しさを知った筆者の心情を理解する。</p> <p>3筆者の必死の行動とは何かを理解し、それによって先輩の料理人たちがどのように変化したかを読み取り、まとめる。</p> <p><第3時></p> <p>4今までに調べたり、話を聞いたりしたことのある職業について、仕事の苦労や喜びの体験談を発表する。(言語活動)</p>	<p>の中で使っている。</p> <p>エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>オ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>C 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>[主] 進んで筆者の体験談から筆者の仕事に対する思いを理解し、今までの学習を生かして職業について見聞きしたことを発表しようとしている。</p>
<p>書く 憧れの職業について調べ、整理してまとめよう</p> <p>P116 3時間</p>	<p>・調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。</p>	<p><第1時></p> <p>1「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2「憧れの職業」について調べ、整理してまとめるまでの例を参考に、自分の希望を人に伝えるための文章の書き方を確認する。</p> <p>3「課題」(P121)の中から一つを選び、興味のある対象(職業または国)をいくつか挙げ、インターネットや辞書、事典等で基本的な情報を調べる。</p> <p>4集めた基本的な情報をもとに、自分の経験や個性も踏まえ、候補に挙げた対象について比較して選択肢を絞る。</p> <p>5自分がその対象を選んだ理由などを書き出す。</p> <p><第2時></p> <p>1選んだ対象について、実際に経験した人の話や、関係する書物など、詳しい情報を集める。</p> <p>2集めた情報を取捨選択し、読み手に自分の考えが伝わりやすくなるよう、書くための材料を決める。</p> <p>3説得力のある文章になるよう構成を決め、大まかな字数の配分を考える。</p> <p>4構成に沿って文章を書き、推敲をする。</p> <p><第3時></p> <p>1推敲した文章を清書する。班の中で互いの文章を読み合い、文章の内容や構成について意見交流を図る。</p> <p>2「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>オ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>情報の扱い方に関する事項(2)</p> <p>ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>A 話すこと・聞くこと(2)</p> <p>エ 集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する活動をした。</p> <p>B 書くこと(1)</p> <p>ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>B 書くこと(2)</p> <p>ウ 調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめている。</p> <p>[主] 粘り強く自分の興味・関心のある対象について調べ、集めた情報の妥当性を検討しながら、学習の見通しをもって読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書くようとしている。</p>

<p>話す・聞く 発想を広げる方法を使 って話し合おう</p> <p>P124 4時間</p>	<p>・発想を広げてアイデアを 整理し、まとめる。</p>	<p><第1時> 1「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ</p> <p><第2時> 2思考・発想を広げる方法について、「思考ツール・発 想の方法」(P194)を参考にして確認する。更に、「ブ レーンストーミング」と「カードによるグルーピング」を 使った活動の例を参考に、学習の進め方を理解する</p> <p><第3時> 3「課題」(P129)の中から一つを選び、思考・発想を広 げる方法として何を使うかを決める。ただし、以下で は「ブレーンストーミング」と「カードによるグルーピン グ」を使った発表活動を例として取り上げる。</p> <p>4どのような題材について話し合うか、各自で題材案を 考えたうえ、グループで検討し、題材を決める。</p> <p><第4時> 1前時で決めた題材についてブレーンストーミングを行 うために、「ブレーンストーミングのルール」を確認し、 『(1)出す・広げる』の例を参考に話し合いの具体的 なイメージを持つ。</p> <p>2思いのまま題材についてのアイデアを出し合う。出 されたアイデアは、その場で付箋に書き、台紙に貼 っていく。</p>	<p>[知技] 情報の扱い方に関する事項(2) イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解して いる。</p> <p>[思判表] A 話すこと・聞くこと(1) ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様 々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討し ている。 オ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの 目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方 や結論の出し方を工夫している。</p> <p>A 話すこと・聞くこと(2) ウ 話し合いの目的に応じて結論を得たり、多様な考えを引き出 したりするための議論や討論を、他の議論や討論の記録な どを参考にしながら行っている。</p> <p>[主] 進んで話し合いの題材を考え、学習課題に沿って発想 を広げる話し合いをしながら自分の考えを広げ、場に応じた 言葉遣いをしようとしている</p>
<p>◆考えよう ……相手に応じた言葉 の選び方</p> <p>P138 4時間</p>	<p>・相手意識を持って言葉を 選ぶ。</p>	<p><第1時> 1前時に貼り付けた付箋について、類似性や共通項に 注目し、「グルーピングの観点の例」などを参考に分 類・整理する。</p> <p><第2時> 2グループ分けした付箋にタイトルを付け、「関係付ける 視点の例」を参考に、相互の関係性が分かるように矢 印などを書いて台紙に配置する。</p> <p><第3時> 3グルーピングの結果を踏まえ、「発表の構成例」を参 考に、五分程度のスピーチとしてまとめる。</p> <p><第4時> 4各グループの話し合いの成果を発表し合い、クラス全 体で共有する。グループでの話し合いのときと、クラス の前で発表するときなど、話す相手や場の状況に応 じた言葉遣いの違いに注意する。(考えよう……相手 に応じた言葉の選び方)</p> <p>5「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認 する。</p>	<p>[知技] 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、 正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した 表現や言葉遣いについて理解している。</p> <p>[思判表] A 話すこと・聞くこと(1) イ 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確 にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考える など、話の構成や展開を工夫している。 ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資 料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得ら れるように表現を工夫している。</p> <p>[主] 進んで話し合いの題材を考え、学習課題に沿って発想 を広げる話し合いをしながら自分の考えを広げ、場に応じた 言葉遣いをしようとしている。</p>

<p>書く 新聞記事を読んで 意見文を書こう</p> <p>P130 3時間</p>	<p>・記事の読み取りを踏まえ、 根拠を明確にして意見を まとめる。</p>	<p><第1時> 1「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ 2「ゲーム依存」について書かれた新聞記事を、「要点を 押さえて新聞記事を読む」にある五つの観点を意識 して通読する。 3見出しに注目して記事の内容を要約し、問題の本質 を理解する。 4「ゲーム依存」の新聞記事を読んで意見文を書いた例 を参考に、意見文の書き方を確認する。</p> <p><第2時> 1「課題」(P135)の中から一つをテーマとして選ぶ。 2選んだテーマに関する新聞記事を探して読む。グル ープで共通の記事を選ぶとよい。</p> <p><第3時> 1選んだ記事について、見出しに注目して内容を要約 し、問題の本質を理解する。 2読み取ったことをもとに意見文の内容を考える。</p>	<p>[知技] 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章 の中で使っている。 オ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方につ いて理解している。 情報の扱い方に関する事項(2) オ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理 解を深め使っている。</p> <p>[思判表] B 書くこと(1) ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説 明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句など の表現の仕方を工夫している。 B 書くこと(2) ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用 しながら、自分の意見や考えを論述する活動をした。</p> <p>[主] 積極的に新聞記事を読んで問題の本質を捉え、学習の 見通しをもって根拠と自分の考えのつながりを明確にし、意 見文を書く活動をしようとしている。</p>
<p>グループで問い作りに 挑戦</p> <p>P136 3時間</p>	<p>・問いを作って絞り込み、書 くための題材を見つける。</p>	<p>1「グループで問い作りに挑戦」を読み、「QFT」のやり 方を確認し、問い作りをする。(グループで問い作りに 挑戦) 2問いに対する意見を考え、意見文に取り入れることを 検討する。 3構成を考えて意見文を書く。その際、記事の引用の仕 方や出典の示し方に注意する。 4書いた文章を読み返し、推敲する。 5推敲した文章を清書する。グループごとに互いの意見 文を読み合い、根拠の示し方や表現の仕方などにつ いて意見交流を図る。 6「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認 する。</p>	<p>[知技] 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解して いる。 カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉 曲的な述べ方について理解し使っている。</p> <p>[思判表] B 書くこと(1) ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、 集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを 明確にしている。</p>
<p>読む 美しさの発見</p> <p>P142 2時間</p>	<p>・「美」という抽象的な題材に ついて論じた文章を読み 、その展開を論理的に捉 え、筆者の価値観を理解 する。</p>	<p><第1時> 1取り上げられている具体例に注意しながら、本文を通 読する。(手引き1) 2第一段から「発明」と「発見」に関わる語句や表現を抜 き出し、ここでのそれぞれの意味を明らかにする。 3コロンブスやキュリー夫人の「発見」と芭蕉やセザンヌ の「発見」の違いを考え、それぞれの意味を明らかに する。(手引き2)</p> <p><第2時> 1少年龍之介を叱った先生が捉えている「美しさ」と少年 龍之介が捉えている「美しさ」を読み取る。 2「同じ一つの心の働き」について考え、「『美しさ』を知 る」ために必要なことを話し合う。(言語活動) 3この文章で筆者は、「美しさの発見」とはどのようなもの であると述べているか、考えを述べ合う。(手引き5)</p>	<p>[知技] 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解して いる。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章 の中で使っている。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語 句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及 び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通し て、語感を磨き語彙を豊かにしている。 オ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方につ いて理解している。</p> <p>[思判表] C 読むこと(1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などに ついて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互 に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章 の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、 自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら、 筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、 今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受 性の養い方について自分の考えを深め、話し合おうとしてい る。</p>

<p>書く 読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう</p> <p>P159 3時間</p>	<p>・助言をもとに推敲して、よりよい文章に仕上げる。</p>	<p><第1時> 1「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。 2「自分の学校」について情報を集めて紹介文を書いた例を参考に、学習の進め方を理解する。 3「課題」(P164)から一つを選び、紹介する対象を決める。 4紹介する対象について、集めたい情報を書き出したうえ、情報の収集方法を考える。</p> <p><第2時> 1資料を調べたり、アンケートを取って結果を集約したりして、情報を収集する。 2集めた情報を取捨選択し、紹介文に使用する情報を選び出す。不足している情報があれば、更に調べて補う。 3文章の構成を考え、序論・本論・結論の三段型などで構成メモを作る。 4構成に沿って、紹介文を書く。</p> <p><第3時> 1書いた文章を、数人で互いに読み合い、意見交換を行う。その際、「評価表の項目の例」を参考に評価表を作り、良い点や改善点を助言し合うようにする。 2読み手の助言をもとに、文章を推敲し、清書する。 3「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	<p>[知技] 言葉の特徴や使い方に関する事項 (1) ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 オ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>[思判表] B 書くこと(1) エ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</p> <p>B 書くこと(2) イ 読み手が必要とする情報に応じて手順書や紹介文などを書いたり、書式を踏まえて案内文や通知文などを書いたりする活動をした。</p> <p>[主] 積極的に紹介文に必要な情報を収集し、学習の見通しをもって情報を取捨選択し、読み手の助言をもとに、よりよい文章を書こうとしている。</p>
<p>読む 不思議な拍手</p> <p>P166 4時間</p>	<p>・人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。</p>	<p><第1時> 1出来事に即し、筆者はどのように考えを進めているかに注意して、本文を通読する。</p> <p><第2時> 2カワカベさんの「拍手」について、筆者が感じたり推測したりしたことを読み取り、まとめる。</p> <p><第3・4時> 3この拍手について、筆者が捉えようとしていることを理解する。</p>	<p>[知技] 言葉の特徴や使い方に関する事項 (1) ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 オ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>[思判表] C 読むこと(1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 積極的に場面の様子を捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中に挙げられている実験から、筆者が推測していることを理解しようとしている。</p>
<p>◆考えよう ……推論の仕方</p> <p>P176 3時間</p>	<p>・推論の仕方を理解し、日常で使えるようになる。</p>	<p><第1時> 1推論には「演繹」と「推測」があり、その違いや、論理的な文章について理解を深める。 (考えよう……推論の仕方)</p> <p><第2・3時> 2推測したことを前提に考えを進めたとき、カワカベさんの「拍手」について、筆者が新たに感じ、考えたことを読み取り、まとめる。(手引き5・6)</p>	<p>言葉の特徴や使い方に関する事項 (1) ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>情報の扱い方に関する事項(2) ウ 推論の仕方を理解し使っている。</p> <p>C 読むこと(1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p>

			イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。
話す・聞く 資料を活用して発表しよう P188 4時間	・発表の仕方や、話の聞き方を工夫する。	<p><第1時></p> <p>1「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2「さまざまな発表の形式」を参考に、さまざまな発表の形式について確認する。</p> <p>3「課題」(P192)の中から発表の形式を一つ選ぶ。ただし、以下では「ポスターセッション」による発表活動を例として取り上げる。</p> <p>4グループごとに、取り上げるテーマを設定する。</p> <p><第2・3時></p> <p>1前時に設定したテーマについて、調べる切り口と内容を絞り込み、調査を行う。</p> <p>2調査内容を模造紙などにまとめ、ポスターを作成する。その際、伝えたいことを明確に表現できるよう、タイトルの付け方や、記事・図表の配置などを工夫する。</p> <p><第4・5時></p> <p>1「発表の構成例」を参考に、発表時間を5分として、発表する内容と時間配分を考える。</p> <p>2グループごとに発表を行う。</p> <p>3発表の後、質疑応答の時間を2分程度設ける。聞き手は、「聞き方のポイント」を参考に、積極的な意見交換ができるようにする。</p> <p>4「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項 (1)</p> <p>イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</p> <p>オ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>A 話すこと・聞くこと(1)</p> <p>ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p>エ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>A 話すこと・聞くこと(2)</p> <p>エ 集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する活動をした。</p> <p>B 書くこと(1)</p> <p>イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>B 書くこと(2)</p> <p>ウ 調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめる活動をした。</p> <p>[主] 進んで分かりやすい発表活動の準備に取り組み、学習課題に沿って聞き手が理解しやすいように発表を行おうとするとともに、他のグループの発表をしっかり聞いて理解を深めようとしている。</p>

令和5(2023)年度 1年現代の国語 シラバス

教科名	国語	科目名	言語文化	対象学年	1年 全コース
単位数	2単位	教科書	新編言語文化 (東京書籍)		

◎指導の目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>
--

◎評価の観点の趣旨

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p>	<p>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>	<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

◎評価の方法

<p>本校に於ける観点別評価の基準に鑑み、各単元において適宜行われた小テストや課題、その他の提出物及び授業への参加態度と定期考査の成績を総合して評価する。</p>

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習目標	学習活動	評価規準
<p>読む さくらさくらさくら P 10 4時間</p>	<p>・引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。</p>	<p><第1時> 1 桜に対するイメージや筆者について知っていることを発表する。 <第2時> 2 本文を通読し、三つの部分に分けて、それぞれの話題をまとめる。 3 第一段における要点がどの部分に示されているかを考え、それが本文全体でどのような意味を持つかを考察する。 <第3時> 4 具体例から日本と外国での桜に対する感じ方や考え方の違いを理解する。 5 第三段を音読し、短歌三首の内容と詠まれた心情について考える。 <第4時> 6 短歌の内容と心情についての考察を踏まえて、筆者の桜への思いを整理する。</p>	<p>[知技] 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 我が国の言語文化に関する事項(2) ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 [思判表] B 読むこと(1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [主] 進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。</p>
<p>読む 古文に親しむ P 118 6時間</p>	<p>・それぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。</p>	<p><第1時> 1 古文と現代文の違いについて確認する。 2 古文の代表作品の冒頭を音読する。 3 現代とは仮名遣いが違うことを知る。 <第2・3時> 4 暗唱し、古文のリズムや調子を体感する。 <第4・5・6時></p>	<p>[知技] 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 我が国の言語文化に関する事項(2) ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。</p>

		<p>5 古典文法、「十の品詞」について学ぶ。</p> <p>6 古文の代表的な作品の冒頭部分を音読・暗唱できるようにする。</p>	<p>ウ 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>B 読むこと(1) オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>B 読むこと(2) ア 我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論、随筆などを読み、我が国の言語文化について論述したり発表したりしている。</p> <p>【主】 進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。</p>
<p>読む 児のそら寝 P 122 4 時間</p>	<p>・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。</p>	<p><第1時> 1 本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。 2 児の気持ちの変化を整理し、最後の描写の意味について考える。</p> <p><第2時> 3 現代語訳する際の注意点を理解する。</p> <p><第3・4時> 4 古典文法「用言」について学ぶ。</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>B 読むこと(1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【主】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。</p>
<p>読む 訓読の基本 P 210 4 時間</p>	<p>・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。</p> <p>・漢和辞典の使い方を知り、漢字の読みと意味の関係について理解する。</p>	<p><第1時> 1 中学校で学習した故事成語・唐詩・『論語』を発表し、高校での漢文学習への意識付けを図る。 2 「訓読」の導入文を読み、漢文とは日本語と言語構造が異なるものであり、その漢文を日本語として読む工夫が訓読であることを理解する。</p> <p><第2時>【訓読】 1 基本構造「主語・述語」と句読点・送り仮名・書き下し文について理解する。 2 基本構造「修飾語・被修飾語」を理解し、句読点・送り仮名・書き下し文に慣れる。 3 基本構造「述語・目的語(補語)」と返り点について理解し、書き下した上で現代語訳する。 4 漢文訓読に関する基本的な知識および漢文の基本構造について確認する。</p> <p><第3時>【格言】 1 前半の五つの格言を音読し、既習の訓点の知識を確認し、返読文字と一レ点の用法について理解する。 2 後半の三つの格言を音読し、助字、置き字と上・中・下点の用法について理解し、書き下し、現代語訳する。(主な置き字とその用法) 3 「訓読」で学習した訓点の知識に加え、返り点、返読文字、置き字について整理した上で書き下し文にする。</p> <p><第4時>【格言(再読文字)】 1 「未来」「将来」の熟語から、再読文字の用法を理解する。 2 「再読文字」の格言を、訓点に従って音読し、書</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2) ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ウ 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>B 読むこと(1) イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【主】 進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つようとしている。</p>

		<p>き下し、現代語訳して、各再読文字の用法について確認する。(再読文字・再読文字の種類と用法)</p> <p>3 「学習の手引き1・2」に取り組み、再読文字の用法に慣れる。</p> <p>4 「格言」の八つの格言と、再読文字の七つの格言の中から、それぞれ興味・関心を持った格言を使った例文を作り、話し合う。</p> <p>5 漢文訓読に関する基礎知識について復習する。</p>	
<p>読む 故事成語一三編 〔言語〕</p> <p>P 220 4 時間</p> <p>■漢文の窓1 名前の表し方</p> <p>P 226</p>	<p>・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。</p>	<p><第1時></p> <p>1 中学校で学習した故事成語を発表し、故事成語とはどのようなものか再確認する。</p> <p>【守株】</p> <p>1 本文を、書き下し文を参照しながら、訓点に従って正確に読めるようになるまで、繰り返し音読する。</p> <p>2 書き下し文のきまりを確認する。</p> <p>3 脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。</p> <p>4 「株を守る」の故事成語としての意味を確認する。</p> <p><第2時>【五十歩百歩】</p> <p>1 本文を訓点に従って正確に読めるようになるまで、繰り返し音読するとともに、書き下し文のきまりを確認する。</p> <p>2 脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。</p> <p>3 本文は、どんなことを伝えようとした話なのか、前書きを参考にして意図を理解する。(手引き3)</p> <p>4 「五十歩百歩」の意味を確認し、「五十歩百歩」を用いた文章表現を行う。</p> <p><第3時>【借虎威】</p> <p>1 本文を訓点に従って正確に読めるようになるまで、繰り返し音読する。</p> <p>2 書き下し文のきまりを確認するとともに、脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。</p> <p>3 「虎の威を借る」の意味を確認し、「虎の威を借る」を用いた文章表現を行う。</p> <p><第4時></p> <p>1 辞書(漢和・国語)や国語便覧などを用い、「守株」「五十歩百歩」「借虎威」以外の故事成語に触れ、故事成語に興味を持つとともに、故事成語が日本語において果たす役割について理解する。</p> <p>2 一人の人間について、現代日本の一般とは違い、複数の「名前」があることを理解する。(漢文の窓1)</p>	<p>【知技】</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>B 読むこと(2)</p> <p>イ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主】 進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。</p>
<p>読む 徒然草〔言語〕</p> <p>P 138 5 時間</p>	<p>・随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に正確に捉える。</p>	<p><第1時></p> <p>1 『徒然草』と作者について、必要な知識を得る。</p> <p>【龜山殿の御池に】</p> <p>1 全文を音読し、あらすじを読み取る。</p> <p>2 「大井の土民」と「宇治の里人」との、水車造りの能力を比較してまとめる。</p> <p>3 主題を考えさせる。(手引き2)</p> <p><第2・3時>【奥山に、猫山といふものありて】</p> <p>1 全文を音読し、あらすじを読み取る。</p> <p>2 「猫また」に関する二つのうわさの内容の違いを考える。また、どのような法師であるかを理解する。</p> <p>3 「猫また」に襲われた法師の行動を捉え、その心理を想像する。</p>	<p>【知技】</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p> <p>ウ 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思判表】</p>

		<p>4最後の一文を解釈し、その効果を考える。(手引き3)</p> <p><第4・5時>【雪のおもしろう降りたりし朝】</p> <p>1全文を音読し、主語を確認しながらあらすじを読み取る。</p> <p>2相手が「返事」に書いてきた内容を読解する。</p> <p>3作者の感慨を読み取る。</p> <p>4「亡き人」の人物像について、話し合う。</p> <p>【今日はそのことをなさんと思へど】</p> <p>1話のあらすじを読み取る。</p> <p>2本文の主旨を理解する。</p> <p>3作者の処世観について、まとめる。</p> <p>1四つの教材について、作者は伝聞したことや自分の考えをどのようにまとめているか、考える。</p> <p>2『徒然草』や作者について、知識を深める。</p>	<p>B 読むこと(1)</p> <p>ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>B 読むこと(2)</p> <p>イ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主】 進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。</p>
<p>読む 枕草子〔言語〕 P146 5時間</p>	<p>・作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。</p>	<p><第1時></p> <p>1平安時代の女流文学および随筆文学について知る。</p> <p><第2・3時>【うつくしきもの】</p> <p>1本文を通読し、何を「うつくし」として取り上げているのか、整理する。</p> <p>2『枕草子』の内容の三分類について知り、この章段が類聚的章段に当たることを理解する。</p> <p><第4・5時></p> <p>1同じ日本語でも時代が変わると意味も変化してくることを、「うつくし」をはじめとする古今異義語を通して理解する。</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主】 進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え、古今異義語について考えようとしている。</p>
<p>読む 柳あをめる【短歌】 P50 4時間</p> <p>P53 4時間</p>	<p>・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。</p>	<p><第1時></p> <p>1短歌とはどういうものか、どんな短歌を知っているかを発表する。</p> <p><第2時></p> <p>2掲載された短歌を音読し、歌のリズムを味わう。</p> <p><第3時></p> <p>3それぞれの歌について、読解・鑑賞をして話し合う。</p> <p><第4時></p> <p>4掲載された短歌の中から印象に残った一首を選んで、感想文を書く。</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思判表】</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>【主】 進んで短歌の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌にこめられた情景や心情を読み取るようとしている。</p>
<p>読む 雪の深さを【俳句】 P54 4時間</p>	<p>・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。</p>	<p><第1時></p> <p>1五・七・五の定型・季語・切れ(切れ字)・取り合わせなど俳句の基礎知識、概念を確認し、知っている俳句・俳人などを発表し合うことで、俳句に対</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p>

		<p>して興味を持つ。</p> <p><第2時> 2 掲載された俳句を音読し、リズムを味わう。</p> <p><第3時> 3 それぞれの句について、読解・鑑賞をして話し合う。</p> <p><第4時> 4 掲載された俳句の中から印象に残った一句を選んで、感想文を書く。(手引き4)</p>	<p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>カ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思判表】</p> <p>A 書くこと(1) イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の工夫をしている。</p> <p>B 読むこと(1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>B 読むこと(2) ア 我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論、随筆などを読み、我が国の言語文化について論述したり発表したりしている。</p> <p>【主】 進んで俳句の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの句の主題を読み取ろうとしている。</p>
<p>読む 折々のうた P154 4時間</p>	<p>・ 詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。</p>	<p><第1時> 1 『万葉集』について、概略を理解する。 2 「淡海の海…」 「春の苑…」 の歌を音読し、現代語訳する。 3 筆者は、これらの歌のどのような点について解説しているか、考える。 4 『古今和歌集』について、概略を理解する。</p> <p><第2時> 5 「五月待つ…」 「秋来ぬと…」 の歌を音読し、現代語訳する。 6 筆者は、これらの歌のどのような点について解説しているか、考える。 7 『新古今和歌集』について、概略を理解する。 8 「梅の花…」 「志賀の浦や…」 の歌を音読し、現代語訳する。 9 筆者は、これらの歌のどのような点について解説しているか、考える。</p> <p><第3時> 10 「志賀の浦や…」 の歌は、本歌とどのような違いがあるか、考える。 11 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』における詠みぶりの違いを考える。 12 『梁塵秘抄』『閑吟集』について、概略を理解する。 13 「舞へ舞へ蝸牛…」 「思へど思はぬ…」 の歌謡を音読し、現代語訳する。</p> <p><第4時> 14 筆者は、これらの歌のどのような点について解説しているか、考える。 15 二つの歌謡に見られる表現のおもしろさについて話し合う。 16 をもとに、発表し合う。</p>	<p>【知技】</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>A 書くこと(2) ア 本歌取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりしている。</p> <p>B 読むこと(1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>B 読むこと(2) ア 我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論、随筆などを読み、我が国の言語文化について論述したり発表</p>

			したりしている。 【主】進んで、和歌や歌謡における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。
書く 〔言語〕短歌を作る P 167 3時間	・自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って短歌にし、効果的に書く。	<p><第1時> 1 「本歌取り」の技法について確認する。</p> <p><第2時> 2 Aに倣い、「君がため」「わが」「つつ」を用いて、フレーム短歌を作り、推敲する。(課題1) 3 Bに倣い、「くるしみは……時」「たのしみは……時」「かなしみは……時」などの形でフレーム短歌を作り、推敲する。(課題2)</p> <p><第3時> 4 課題1・2で作った短歌を短冊に書き、作品に仕上げる。(課題1～3) 5 作品を貼り出す、コピーして配布するなどして、表現の仕方などについて互いに批評し合い、話し合う。</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 我が国の言語文化に関する事項(2) ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思判表】 A 書くこと(1) イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 A 書くこと(2) ア 本歌取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりする活動。 B 読むこと(2) オ 古典から受け継がれてきた詩歌や芸能の題材、内容、表現の技法などについて調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりしている。</p> <p>【主】進んで短歌の構成や語句などの表現の仕方を工夫し、学習課題に沿って、自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って効果的に書こうとしている。</p>
読む 絶句と律詩一七首 P 228 4時間		<p><第1・2時> 【鹿柴】【春晓】【黄鶴楼送孟浩然之広陵】 1 それぞれの詩の詩形と押韻を確認する。(手引き3・漢文の窓2) 2 それぞれの詩を音読し、書き下す。 3 展開に注意して現代語訳し、「自然をうたう」という章立てを意識しつつ、うたわれている状況を考える。 4 「自然をうたう」という章立てを意識しつつ、それぞれどのような心情がうたわれているかを考える。 5 孟浩然と幸田露伴の「春晓」(229ページ)を読み比べて、類似点や相違点を考える。(言語活動)</p> <p><第3・4時>【贈汪倫】【涼州詞】【春望】 1 それぞれの詩の詩形と押韻を確認する。 2 それぞれの詩を音読し、書き下す。 3 展開に注意して現代語訳し、「友情をうたう」という章立てを意識しつつ、うたわれている状況を考える。 4 「友情をうたう」という章立てを意識しつつ、それぞれどのような心情がうたわれているかを考える。(手引き2)</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2) ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思判表】 B 読むこと(1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 B 読むこと(2) イ 作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ウ 異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりしている。</p>

			<p>[主] 進んで漢詩の形式ときまりを理解し、学習課題に沿って、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。</p>
<p>書く 〈漢詩と日本文学〉 P 234 1 時間</p> <p>訳詩を書く P 235 2 時間</p>	<p>・漢詩とそれを踏まえた古文を読み、漢文が日本文学に与えた影響について知る。</p> <p>・元の漢詩の魅力が効果的に伝わるように、表現を工夫して訳詩を書く。</p>	<p><第1時></p> <p>1 漢文を踏まえた日本文学について、概略を理解する。</p> <p>2 「香炉峰下、…」と「雪のいと高う降りたるを」を音読し、内容を捉える。</p> <p>3 「雪のいと高う降りたるを」が、どのように漢詩を踏まえているか考える。</p> <p>4 「雪のいと高う降りたるを」が漢詩を踏まえていることの意味や効果について考える。</p> <p><第2・3時></p> <p>1 235 ページの三つの訳詩を読み比べ、表現上の特質について気づいたことを話し合う。(課題①)</p> <p>2 好きな漢詩を選んで書き下し文に直し、内容を確認して具体的にイメージを膨らませる。(課題② 1・2)</p> <p>3 自分の言葉で訳詩を書き、推敲する。(課題② 3・4)</p> <p>4 訳詩を読み合い、表現の工夫などについて批評し合う。</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>A 書くこと(1)</p> <p>ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</p> <p>イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の工夫をしている。</p> <p>[主] 進んで作品の歴史的・文化的背景や他の作品との関係を理解し、学習課題に沿って、漢文が日本文学に与えた影響について考えようとしている。</p>
<p>読む 羅生門〔言語〕 P 72 5 時間</p>	<p>・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。</p>	<p><第1時></p> <p>1 全文を通読し、時代背景を確かめる。</p> <p>2 場面の変化に注意して、本文全体を四つの意味段落に分ける。</p> <p>3 第一段を読み、「下人」の内面の状態をまとめる。</p> <p><第2時></p> <p>4 「作者」の説明に従って、「下人」の行動を順を追って整理する。</p> <p>5 「下人」の内面の変化を順を追って整理する。</p> <p>6 第二段を読み、「下人」の目が捉えた「羅生門」の楼上の情景を整理する。</p> <p><第3時></p> <p>7 「下人」と「老婆」について、比喩で表現した箇所を抜き出し、比喩の効果について考え、まとめる。</p> <p>8 第三段、第四段を読み、「下人」と「老婆」の行動を順を追って整理する。</p> <p>9 「なるほどな、……大目に見てくれるである。」に述べられた「老婆」の主張について考え、それを聞いた「下人」が「引剥ぎ」をしようと思った理由を考える。</p> <p><第4時></p> <p>10 「下人」の内面の変化を、変化のきっかけと関連づけながら、整理する。(手引き 2・3-2・4)</p> <p>11 「黒洞々たる夜」という表現に留意して、「老婆」のその後について考える。</p> <p>12 「下人の行方は、誰も知らない。」という終わりを踏まえて、「下人」がこの後、どうなったのかを想像し、話し合う。(手引き 5)</p> <p>13 小説の主題について、自分なりに考えて発表する。</p> <p><第5時></p> <p>14 「老婆」の主張についてどのように考えるか、賛</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>B 読むこと(2)</p> <p>イ 作品の内容や形式について、批評したり討論したりする活動をしている。</p> <p>ウ 異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動をしている。</p> <p>[主] 進んで本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。</p>

		成、反対の立場に分かれて討論する。(言語活動1) 15「下人」と「老婆」の会話を、それぞれの人物になったつもりで、役割読みする。(言語活動2)	
読む 〔言語〕元になった 古典作品と読み比 べよう P 88 3時間	・古典を元にして作ら れた作品と、元の作品 を読み比べ、理解を深 める。	<第1時> 1 古典作品を元にかかれた作品について理解する。 2 原作(89 ページ)の本文のA～Dについて、「羅生門」で対応する箇所を探し、88 ページの(1)～(3)のいずれに該当するか考える。 3 2をもとに原作と「羅生門」を比較し、「羅生門」で省略・変更されている点が果たす役割について考える。 <第2時> 1 原作の波線ア～エについて、「羅生門」で対応する箇所を探し、88 ページの(1)～(3)のいずれに該当するか考える。(課題1) 2 1で検討した中から、重要だと思うものを選び、「羅生門」の創作性にとってどのような意味を持つか、自分の考えをまとめ、話し合う。(課題2) <第3時> 3 原作の後半部分(92 ページ)の波線オ～ケについて、「羅生門」で対応する箇所を探し、88 ページの(1)～(3)のいずれに該当するか考える。(課題3)	〔知技〕 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 〔思判表〕 B 読むこと(1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 B 読むこと(2) ウ 異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動をしている。 〔主〕 進んで古典を元にして作られた作品についての理解を深め、学習課題に沿って、古典を元にして作られた作品と原作との違いや創作性について考えようとしている。
読む 史話一三編 P 248 4時間	・話の展開や登場人物 の言動を読み取り、史 話のおもしろさを味わ う。	<第1時> 1 これまでに読んだ中国古典の史話の中でおもしろかったもの、印象に残ったものを発表する。 2 教科書の注釈や「中国文学史年表」などを参考にし、『三国志』について概略を理解する。 【曹公戦於白馬】 3 本文を音読し、書き下し文にする。 4 脚注を参照して現代語訳し、内容を理解する。 5 荀攸の作戦がどのようなものだったか、順を追って整理し、まとめる。 <第2時> 【曹公以関羽為義】 6 本文を音読し、書き下し文にする。 7 脚注を参照して現代語訳し、内容を理解する。 8 曹操が側近に対して「勿追也」と言った理由を、「曹公義之」をもとに考え、話し合う。 <第3時> 【魏武捉刀】 9 本文を音読し、書き下し文にする。 10 脚注を参照して現代語訳し、内容を理解する。 11 「帝自捉刀立牀頭。」という行動から、どのような意図が読み取れるか、考える。 <第4時> 12 魏武が匈奴の使者を殺させた理由について考える。	〔知技〕 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 我が国の言語文化に関する事項(2) イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 〔思判表〕 A 書くこと(1) ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 A 書くこと(2) 他 上記以外の言語活動 B 読むこと(1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 B 読むこと(2) ウ 異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動。 〔主〕 進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、史話のおもしろさを味わおうとしている。
書く 〔言語〕『三国志』 の英雄ポスターを 作る P 254	・好きな人物を選び、 調べて得た情報を的確 に整理して、人物像が 伝わるポスターを作 る。	<第1時> 1 歴史書の『三国志』と歴史小説の『三国志演義』との関係や、両者の違いなどについて理解する。 2 どのようなポスターにするかをイメージする。(課題1)	〔知技〕 我が国の言語文化に関する事項(2) ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化

4 時間		<p><第 2・3 時></p> <p>3 取り上げる人物を決めて、その人物についてのエピソードや評価などを調べる。(課題 2)</p> <p>4 集めた情報を整理し、キャッチフレーズを考えるなどして、ポスターにまとめる。(課題 3)</p> <p><第 4 時></p> <p>5 ポスターを読み合い、気づいたことを伝え合う。(課題 4)</p>	<p>的背景などを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>A 書くこと(1)</p> <p>ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</p> <p>A 書くこと(2)</p> <p>他 上記以外の言語活動</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>B 読むこと(2)</p> <p>オ 古典から受け継がれてきた詩歌や芸能の題材、内容、表現の技法などについて調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりしている。</p> <p>【主】 進んで調べて得た情報を的確に整理し、学習課題に沿って、人物像が伝わるポスターを作ろうとしている。</p>
------	--	--	---

令和5(2023)年度 2年 論理国語 シラバス

教科名	国語	科目名	論理国語	対象学年	2年 全コース
単位数	2単位	教科書	新編論理国語 (大修館書店)		

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

◎評価の観点の趣旨

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
教科書や資料、授業から実社会に必要な語彙を増やし、学んだ語彙を文章の中で使うことができ、文章の構成や展開の仕方について理解できている。	情報を収集、整理してまとめたり、自分の主張や文章が的確に伝わるよう工夫したり、読み手を想定して効果的な表現ができるように構成や論理の展開ができている。	言葉がもつ価値への認識を深めながら、自己の課題に向き合い、言葉を通して他者に関わろうとし、粘り強く自らの学習を調整できている。

◎評価の方法

本校に於ける観点別評価の基準に鑑み、各単元において適宜行われた小テストや課題、その他の提出物及び授業への参加態度と定期考査の成績を総合して評価する。

領域・教材名 ページ数・配当時間	学習目標	学習活動	評価規準
読む 知の登山、知の水路 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> 「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて考える。 	<p><第1時> 全文を通読し、教材を読む前に、「学ぶ」ということや、「知識」についての思いや考えを共有する。</p> <p><第2時> 「学ぶ」ことについての筆者の主張を読み取る。</p> <p><第3時> 反復される表現や意味が対応する表現を押さえ、前段落とのつながりを意識させる。</p> <p><第4時> これまでの内容と「文化」との関係を読み取り、「知識」と「知恵」の違いを確認する。</p>	<p>[知技] 言葉の特徴や使い方に関する事項(1)エ</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <p>B 読むこと(1)ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい要旨を把握している。 <p>[主]・学ぶことについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。</p>
読む 根拠をふまえて主張を書こう P102 4時間	<ul style="list-style-type: none"> 根拠を明示しながら論理的に主張を書く。 接続表現を適切に使って、論理的な文章を書く。 	<p><第1時> 導入。教科書の例文A/Bを読み比べBのほうが論理的な理由を話し合う。</p> <p><第2時> 小論文と作文の違いを理解する。小論文では主張(理由)と根拠(理由)を示さなければならないことを理解する。</p> <p><第3時> 「根拠や理由を示す接続表現」と「筆者の主張を示す接続表現」の違いを確認し、ワーク1に取り組む。</p> <p><第4時> ワーク2に取り組む</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小論文における、根拠を明確にしながらい主張を論理的に書く方法や、主張と根拠を示す接続表現について理解を深めている。[(1)ウ] <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、根拠とする情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。[A(1)イ] <p>[主]</p> <ul style="list-style-type: none"> 小論文を書くことに興味をもち、適切な根拠を示しながら、自分の主張を展開しようとしている。
読む 構成を考えて書こう P106 4時間	基本的な小論文の型を理解する。	<p><第1・2時> 小論文の構成「ポイント」を確認し、尾括型、頭括型、双括型などの基本的な型の違いを理解する。</p> <p><第3時> ワーク1に取り組む。</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小論文における、文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。[(1)ウ]

		<p><第4時>ワーク2に取り組む。</p>	<p>・小論文における、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 [(1)エ] 【思判表】 ・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にし、構成を考えながら書いている。[A(1)エ] 【主】 ・小論文を書くことに興味をもち、説得力のある文章を書くための適切な構成のしかたを理解しようとしている。</p>
<p>書く 反論を想定して書く こう P108 3時間</p>	<p>反論を想定し、説得力のある小論文を書く。</p>	<p><第1時>説得力がある文章を書くための方法を確認する。 <第2時>教科書107ページのワーク2で選んだテーマ・立場でワークシートに取り組む。 <第3時>ワークシートを使用し、構成メモを作成する。600字程度の小論文を、構成メモをもとに書く。</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ・小論文における、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 [(1)エ] 【思判表】 A 書くこと(1) ・「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して根拠を考え、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫し、説得力のある文章を書いている。[A(1)ウ] 【主】・小論文を書くことに興味をもち、反論やその根拠を想定して、自分の主張を展開しようとしている。</p>
<p>書くこと 文章を磨き上げよう P110 6時間</p>	<p>推敲の観点を知り、文章を改善する。</p>	<p><第1・2・3時>テーマを設定し、小論文を書く。 <第4時>小論文を推敲するために、「ポイント」を確認し、小論文推敲の観点を理解する。 <第5時>前時に執筆した小論文を推敲する。 <第6時>自分で遂行した後に、ペアでお互いの文章を添削しあい、文章を改善・修正する。</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ・小論文における、文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたや文章を推敲する上での観点について理解を深めている。[(1)ウ] 【思判表】 ・「書くこと」において、文章を推敲して、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。[A(1)オ] 【主】 ・文章を推敲する学習をとおして、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫しようとしている。</p>
<p>読むこと 【ウォームアップ】 具体と抽象の関係 P28 2時間</p>	<p>・具体と抽象の関係について考えを深める。</p>	<p><第1時>設問1に取り組む、情報を上位概念から下位概念へと整理する「ツリー図」を通して、具体と抽象の関係を視覚的に理解する。 <第2時>設問②に取り組む、実際の短い文章を読み、具体と抽象の関係について理解を深める。</p>	<p>【知技】 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ・具体と抽象の関係を示す語句や表現について理解し使っている。[(1)イ] (2)情報の扱い方に関する事項 ・情報を抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。[(2)イ] 【思判表】 ・「読むこと」において、具体と抽象の関係を適切に把握しながら、要旨を把握している。[B(1)ア] 【主】 ・積極的に学習に取り組む、具体と抽象の関係について理解を深めようとしている。</p>

<p>読む・書く ウサギの耳はなぜ長い？ P32 6時間</p>	<p>・具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。</p>	<p><第1時>初発の感想を述べ合い、おおまかな構成を確認する。 <第2時>第1段落を読み、進化の二つの条件とその具体例や、「共進化」という概念を理解する。 <第3時>第2段落を読み、「共進化」についての理解を深める。 <第4時>第3段落を読み、「共進化の実相」について理解する。 <第5時>学習全体を振り返り、生物の生態や進化についての本に興味を持ち、文章にまとめるためのトピックを探す。 <第6時>生物や進化についての本を読み、そこからわかったことを文章にまとめ、グループで発表活動を行う。</p>	<p>【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。〔(2)イ〕 【思判表】 B 読むこと(1) ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主】・共進化についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとらえようとしている。</p>
<p>読む 3対比をとらえる 【ウォームアップ】 比べて説明する P54 2時間</p>	<p>・対比の関係について考えを深める。</p>	<p><第1時>広告における対比の有無を比べることで、対比の効果を体感しながら、その役割を考える。 <第2時>「例題」の「米の種類と食文化」を読み、対比によって二種類の米の特徴を明確にし、その違いを文章にまとめる。</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ・対比を示す語句や表現、対比の用い方について理解し使っている。〔(1)イ〕 【思判表】 A書くこと(1) 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。〔(1)イ〕 B 読むこと(1) ・対比を示す語句や表現、対比の用い方について理解し使っている。〔(1)イ〕 【主】 ・積極的に学習課題に取り組み、対比の関係とその効果をとらえようとしている。</p>
<p>読む デジタル地図から見える世界 P67 6時間</p>	<p>・対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・文章の構成や展開のしかたに注目しながら、筆者の主張を読み取る。</p>	<p><第1時>地図の使用歴やそのときの感覚などをグループで話し合う。その後、全文を通読し、何と何が対比関係となっているのかを確認する。 <第2時>地図を「広げる」ことにどのような意味があるかを読み取る。 <第3時>デジタル地図の特徴を読み取る。 ある特定の地図を手元に広げるときとはどこかちがう感覚がある。」(69・7)とは具体的にどのような感覚かを考え、ペアで話し合わせる。 <第4時>「地図のなかに『居る』ことができるようになった」(70・1)とはどのようなことか考え、ワークシートにまとめる。 「人びとの視野を『広げる』よりも、むしろ『狭める』ように機能する可能性を持つようになっていった」(70・13)という主張の根拠を本文からまとめる。 <第5時>デジタル地図に依存することの危険性を読み取る。紙の地図とデジタル地図の特徴について、対比関係を意識して表にまとめる。 <第6時>筆者の考察をふまえて、紙の地図が今後どのように使われていくか、また、デジタル地図が登場したことで、人間からどのようなものが失われたと思うか、話し合う。</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。(1)イ〕 【思判表】 B 読むこと(1) ・「読むこと」において、対比の関係を注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 〔B(1)ア〕 【主】・デジタル地図についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとらえようとしている。</p>
<p>読む 【フォーカス】 対比を使って主張する P74 2時間</p>	<p>・効果的な対比の用い方について、理解を深める。 ・主張を支えるための対比の用い方を考える。</p>	<p><第1時>「対比を用いて説明する」と読み課題、②に取り組む。あいてにわかりやすい説明として、具体を用い、さらにその具体部分が対比となっているという構造を理解する。 <第2時>課題②に取り組む。「主張」の内容を読ませ、ポイントを押さえる。</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ・対比を示す語句や接続表現を、説明したり、主張の根拠を示すために適切に用いている。〔(1)イ〕 【思判表】 B 読むこと(1) ・「書くこと」において、対比関係を用いることで物事の特</p>

			<p>徴や伝えたいことを明確にできることを理解し、物事の説明や主張を支える根拠として適切に表現している。[A(1)イ]</p> <p>B 読むこと(2)</p> <p>イ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>[主]・積極的に学習に取り組み、対比の関係について理解を深めようとしている。</p>
<p>読む</p> <p>【ウォームアップ】 主張と根拠を考える</p> <p>P78 2時間</p>	<p>・主張と根拠の関係について考えを深める。</p>	<p><第1時>文章A・Bを読み、それぞれの主張と、それを支える根拠に用いられている特徴的な表現を、それぞれ指摘する。</p> <p><第2時>教科書100ページ「論理の窓④ 根拠のいろいろ」を参考にして、文章Bの主張を支える根拠が、それぞれどのような働きをしていると思うか、ペアになってお互いで説明する。</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。[(2)ア]</p> <p>[思判表]</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>・「読むこと」において、論理の展開を的確にとらえ、主張と根拠の関係について、理解している。[B(1)ア]</p> <p>[主]</p> <p>・積極的に学習に取り組み、主張と根拠の関係について理解を深めようとしている。</p>
<p>読む</p> <p>文化としての科学</p> <p>P80 3時間</p>	<p>主張と根拠の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。</p>	<p><第1時>「文化としての科学」を読み、筆者が最も伝えたいこと(主張)は何かをまとめる。</p> <p><第2時>筆者の主張をささえている要素(根拠)について、説明を文章に書き、ペアで発表する。</p> <p><第3時>まとめとして、ワークシートに取り組む。</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ]</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。[(2)ア]</p> <p>[思判表]</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらから要旨を把握している。[B(1)ア]</p> <p>[主]</p> <p>・主張と根拠の関係を的確にとらえながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。</p>
<p>読む</p> <p>人工の自然 —科学技術時代の今を 生きるために</p> <p>P82 6時間</p>	<p>・主張と根拠の関係を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。</p> <p>・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。</p>	<p><第1時> 題名について考えたことを一文に書く。 全文を読み、全体の構成を把握する。</p> <p><第2時> 第1段落を音読し、重要な点を確認する。 今と昔を比較して考えさせる。昔のトイレ、外国のトイレについて知っていることを発表させる。</p> <p><第3時>第二段落を音読し、「その理屈」の内容、それに対する筆者の考えを読み取る。</p> <p><第4時>第三段落を音読する。</p> <p>・「人工の自然」とは何か。</p> <p>・「人工の自然」と「自然な自然」の違いは何か。</p> <p>・「真の科学技術教養」とはどういうことか。</p> <p>考え方を整理する。</p> <p><第5時>第四段落を音読する。筆者の主張をつかむため、「知識としての科学技術教養」の内容を捉え、筆者が重要だと考えていることがらを理解する。</p> <p><第6時>全文の要点をまとめるために、本文の問い(問題意識)と答え(結論)をとらえる。</p>	<p>[知技]</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ]</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。[(2)ア]</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらから要旨を把握している。[B(1)ア]</p> <p>[主]</p> <p>・主張と根拠の関係を的確にとらえながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。</p>
<p>読む</p> <p>【ウォームアップ】 文章と資料を関連 づけて読む</p>	<p>・文章と統計資料の関係について考えを深める。</p>	<p><第1時>「海外に行く日本人」と「日本に来る外国人」の数は、資料1の赤い線と青い線のどちらに当たるか考え、まとめる。傍線部Aに当たる位置をグラフから指摘し、文章にまとめる。次に傍線部B</p>	<p>[知技]</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ]</p> <p>[思判表]</p>

<p>P 112 4 時間</p>		<p>について、グラウと表の対応関係を指摘し、文章にまとめる。 <第2時>④「日本に来る外国人の数が急増しました」とあるが、何年間でどのくらいの人数が増えているかを確認して、その増え方を「急増」と言っ よいことを説明する。</p>	<p>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。[B(1)イ] 【主】・積極的に学習に取り組み、文章と資料の関係について理解を深めようとしている。</p>
<p>読む 量の時代から質の時代へ P 114 4 時間</p>	<p>・さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 ・統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。</p>	<p><第1時>全文を通し、文章のおおまかな展開を押しさせる。本文の内容を年代ごとに、できごとを整理して年表にまとめてみる。 <第2時>第1段落の内容と資料1の関係をとらえる。資料1の読み取りをふまえて、大量生産・大量消費の時代について理解する。 <第3時>第2段落の読み取りを踏まえて、消費の多様化について理解を深める。 資料1・資料2はそれぞれ本文のどの箇所と対応しているか指摘する。 <第4時>第三・四段落を読み取る。 ・「これまでの当たり前を問い直そうとする意識」について考える。 ・「自分たちが使うものや食べるものの本質的な価値」(116・6)とはどのようなことか説明を文章にまとめてみる。 第四段落の内容と資料3・4の関わりを考えてみる。</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。[B(1)イ] 【主】 ・消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとらえようとしている。</p>
<p>読む 【ウォームアップ】 情報を比較・整理する P 126 2 時間</p>	<p>情報を比較・整理する方法について考えを深める。</p>	<p><第1時>文化祭の企画について夏目さんたちが話し合う場面で、地域の商店会長への協力依頼をどのような方法で行うかをマトリックス表にまとめる。 <第2時>マトリックス表に整理した内容から、目的との関係で、どの点に重きをおくのか、その上でそちらを選択すべきなのか、グループで話し合っ て判断を行う。</p>	<p>【知技】 我が国の言語文化に関する事項(2) イ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。[(2)イ] 【思判表】 B 読むこと(1) ・「読むこと」において、複数の情報を比較・整理しながら検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味している。 [B(1)ウ]B 読むこと(2) 【主】 ・積極的に学習に取り組み、情報の比較・整理について理解を深めようとしている。</p>
<p>読む 「言葉の揺れ」を認めるか P 128 4 時間</p>	<p>・情報を比較・整理しながら、異なる立場の主張を読み取る。</p>	<p><第1・2時>二つの意見文を読んで、相違点と共通点を表に整理する。 <第3・4時>二つの意見を比べて考えたことを六〇〇字程度にまとめる。</p>	<p>【知技】 我が国の言語文化に関する事項(2) ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。[(2)イ] 【思判表】 B 読むこと(1) ・「読むこと」において、複数の文章の内容を比較・整理しながら検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[B(1)ウ] 【主】 ・情報を的確に比較・整理しながら、筆者の考えを読み取るようとしている。</p>
<p>読む 情報化と紙の本のゆくえ P 138 6 時間</p>	<p>・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・具体例の役割や根拠に注意しながら筆者の主張を読み取る。</p>	<p><第1時>SNSと「紙の本」を比べたとき、どちらが一日接する時間が多いかを話し合う。 全文を通読し、各段落に見出しを考える。 <第2時>「いい話」の内容を整理し、筆者の態度をまとめる。『おじいさんのランプ』を例示することで筆者が何を言おうとしているか、考える。 <第3時>『おじいさんのランプ』が引き合いに出されること の理由を整理する。 「四六判の本」と「SNS」と具体例の対比によって、</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思判表】 B 読むこと(1) ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論</p>

		<p>筆者が何をいおうとしているのかを考える。</p> <p>「本質的な変化」とはどのようなことかを考える。</p> <p><第4時> 「大きな変化のあくまで一部分とはどういうことかを整理する。</p> <p>「紙の本」が「骨董品のようなものになっていく可能性が高い」のはなぜか、筆者の考えを整理する。全体の論旨をまとめる。</p> <p><第5時> 「古いメディア」のゆくえについて話し合う。</p> <p><第6時> 「フォーカス 比べて読もう」(146ページ)などを用いて、同単元内の「紙の本はなくなるならない」(内田樹)との読み比べを行う。</p>	<p>拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[B(1)ウ]</p> <p>[主]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を的確に比較・整理しながら、情報化社会についての筆者の考えを読み取ろうとしている。
--	--	--	---

令和5(2023)年度 2年文学国語 シラバス

教科名	国語	科目名	文学国語	対象学年	2年 全コース
単位数	2単位	教科書	新編文学国語 (大修館書店)		

◎指導の目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

◎評価の観点の趣旨

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

◎評価の方法

本校に於ける観点別評価の基準に鑑み、各単元において適宜行われた小テストや課題、その他の提出物及び授業への参加態度と定期考査の成績を総合して評価する。
--

領域・教材名 ページ数・配当時間	学習目標	学習活動	評価規準
読む さくらさくらさくら P10 4時間	・引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。	<p><第1時></p> <p>1 桜に対するイメージや筆者について知っていることを発表する。</p> <p><第2時></p> <p>2 本文を通読し、三つの部分に分けて、それぞれの話題をまとめる。</p> <p>3 第一段における要点がどの部分に示されているかを考え、それが本文全体でどのような意味を持つかを考察する。</p> <p><第3時></p> <p>4 具体例から日本と外国での桜に対する感じ方や考え方の違いを理解する。</p> <p>5 第三段を音読し、短歌三首の内容と詠まれた心情について考える。</p> <p><第4時></p> <p>6 短歌の内容と心情についての考察を踏まえて、筆者の桜への思いを整理する。</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p> <p>ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>[主] 進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。</p>
読む 古文に親しむ P118 6時間	・それぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。	<p><第1時></p> <p>1 古文と現代文の違いについて確認する。</p> <p>2 古文の代表作品の冒頭を音読する。</p> <p>3 現代とは仮名遣いが違うことを知る。</p> <p><第2・3時></p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p>

		<p>4 暗唱し，古文のリズムや調子を体感する。</p> <p><第4・5・6時></p> <p>5 古典文法、「十の品詞」について学ぶ。</p> <p>6 古文の代表的な作品の冒頭部分を音読・暗唱できるようにする。</p>	<p>ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。</p> <p>ウ 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>オ 作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>B 読むこと(2)</p> <p>ア 我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論，随筆などを読み，我が国の言語文化について論述したり発表したりしている。</p> <p>【主】 進んで音読して古典の世界に親しみ，学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。</p>
<p>読む 児のそら寝 P 122 4 時間</p>	<p>・歴史的仮名遣いについて理解し，説話のおもしろさを読み取る。</p>	<p><第1時></p> <p>1 本文を音読し，歴史的仮名遣いに慣れる。</p> <p>2 児の気持ちの変化を整理し，最後の描写の意味について考える。</p> <p><第2時></p> <p>3 現代語訳する際の注意点を理解する。</p> <p><第3・4時></p> <p>4 古典文法「用言」について学ぶ。</p>	<p>【知技】</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>エ 文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【主】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し，学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。</p>
<p>読む 訓読の基本 P 210 4 時間</p>	<p>・漢文の特色を知り，訓読のきまりを理解するとともに，格言に親しむ。</p> <p>・漢和辞典の使い方を知り，漢字の読みと意味の関係について理解する。</p>	<p><第1時></p> <p>1 中学校で学習した故事成語・唐詩・『論語』を発表し，高校での漢文学習への意識付けを図る。</p> <p>2 「訓読」の導入文を読み，漢文とは日本語と言語構造が異なるものであり，その漢文を日本語として読む工夫が訓読であることを理解する。</p> <p><第2時>【訓読】</p> <p>1 基本構造「主語・述語」と句読点・送り仮名・書き下し文について理解する。</p> <p>2 基本構造「修飾語・被修飾語」を理解し，句読点・送り仮名・書き下し文に慣れる。</p> <p>3 基本構造「述語・目的語（補語）」と返り点について理解し，書き下した上で現代語訳する。</p> <p>4 漢文訓読に関する基本的な知識および漢文の基本構造について確認する。</p> <p><第3時>【格言】</p> <p>1 前半の五つの格言を音読し，既習の訓点の知識を確認し，返読文字と一レ点の用法について理解する。</p> <p>2 後半の三つの格言を音読し，助字，置き字と上・中・下点の用法について理解し，書き下し，現代語訳する。（主な置き字とその用法）</p> <p>3 「訓読」で学習した訓点の知識に加え，返り点，返読文字，置き字について整理した上で書き下し文にする。</p> <p><第4時>【格言（再読文字）】</p> <p>1 「未来」「将来」の熟語から，再読文字の用法を</p>	<p>【知技】</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>エ 文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p> <p>ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>ウ 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。</p> <p>【主】 進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し，見通しを持って，古典を学ぶ意味について考えを持つようとしている。</p>

		<p>理解する。</p> <p>2 「再読文字」の格言を、訓点に従って音読し、書き下し、現代語訳して、各再読文字の用法について確認する。(再読文字・再読文字の種類と用法)</p> <p>3 「学習の手引き1・2」に取り組み、再読文字の用法に慣れる。</p> <p>4 「格言」の八つの格言と、再読文字の七つの格言の中から、それぞれ興味・関心を持った格言を使った例文を作り、話し合う。</p> <p>5 漢文訓読に関する基礎知識について復習する。</p>	
<p>読む 故事成語一三編 〔言語〕 P 220 4 時間</p> <p>■漢文の窓1 名前の表し方 P 226</p>	<p>・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。</p>	<p><第1時> 1 中学校で学習した故事成語を発表し、故事成語とはどのようなものか再確認する。</p> <p>【守株】 1 本文を、書き下し文を参照しながら、訓点に従って正確に読めるようになるまで、繰り返し音読する。 2 書き下し文のきまりを確認する。 3 脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。 4 「株を守る」の故事成語としての意味を確認する。</p> <p><第2時>【五十歩百歩】 1 本文を訓点に従って正確に読めるようになるまで、繰り返し音読するとともに、書き下し文のきまりを確認する。 2 脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。 3 本文は、どんなことを伝えようとした話なのか、前書きを参考にして意図を理解する。(手引き3) 4 「五十歩百歩」の意味を確認し、「五十歩百歩」を用いた文章表現を行う。</p> <p><第3時>【借虎威】 1 本文を訓点に従って正確に読めるようになるまで、繰り返し音読する。 2 書き下し文のきまりを確認するとともに、脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。 3 「虎の威を借る」の意味を確認し、「虎の威を借る」を用いた文章表現を行う。</p> <p><第4時> 1 辞書(漢和・国語)や国語便覧などを用い、「守株」「五十歩百歩」「借虎威」以外の故事成語に触れ、故事成語に興味を持つとともに、故事成語が日本語において果たす役割について理解する。 2 一人の人間について、現代日本の一般とは違い、複数の「名前」があることを理解する。(漢文の窓1)</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思判表】 B 読むこと(1) エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 B 読むこと(2) イ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主】 進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。</p>
<p>読む 徒然草〔言語〕 P 138 5 時間</p>	<p>・随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。</p>	<p><第1時> 1 『徒然草』と作者について、必要な知識を得る。</p> <p>【龜山殿の御池に】 1 全文を音読し、あらすじを読み取る。 2 「大井の土民」と「宇治の里人」との、水車造りの能力を比較してまとめる。 3 主題を考えさせる。(手引き2)</p> <p><第2・3時>【奥山に、猫山といふものありて】 1 全文を音読し、あらすじを読み取る。 2 「猫また」に関する二つのうわさの内容の違いを考える。また、どのような法師であるかを理解する。</p>	<p>【知技】 言葉の特徴や使い方に関する事項(1) ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2) ウ 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表</p>

		<p>3 「猫また」に襲われた法師の行動を捉え、その心理を想像する。</p> <p>4 最後の一文を解釈し、その効果を考える。(手引き3)</p> <p><第4・5時>【雪のおもしろう降りたりし朝】</p> <p>1 全文を音読し、主語を確認しながらあらすじを読み取る。</p> <p>2 相手が「返事」に書いてきた内容を読解する。</p> <p>3 作者の感慨を読み取る。</p> <p>4 「亡き人」の人物像について、話し合う。</p> <p>【今日はそのことをなさんと思へど】</p> <p>1 話のあらすじを読み取る。</p> <p>2 本文の主旨を理解する。</p> <p>3 作者の処世観について、まとめる。</p> <p>1 四つの教材について、作者は伝聞したことや自分の考えをどのようにまとめているか、考える。</p> <p>2 『徒然草』や作者について、知識を深める。</p>	<p>現などについて理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>B 読むこと(2)</p> <p>イ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主】 進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。</p>
<p>読む 枕草子〔言語〕 P146 5時間</p>	<p>・作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。</p>	<p><第1時></p> <p>1 平安時代の女流文学および随筆文学について知る。</p> <p><第2・3時>【うつくしきもの】</p> <p>1 本文を通読し、何を「うつくし」として取り上げているのか、整理する。</p> <p>2 『枕草子』の内容の三分類について知り、この章段が類聚的章段に当たることを理解する。</p> <p><第4・5時></p> <p>1 同じ日本語でも時代が変わると意味も変化してくることを、「うつくし」をはじめとする古今異義語を通して理解する。</p>	<p>【知技】</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主】 進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え、古今意義語について考えようとしている。</p>
<p>読む 柳あをめる【短歌】 P50 4時間</p> <p>P53 4時間</p>	<p>・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。</p>	<p><第1時></p> <p>1 短歌とはどういうものか、どんな短歌を知っているかを発表する。</p> <p><第2時></p> <p>2 掲載された短歌を音読し、歌のリズムを味わう。</p> <p><第3時></p> <p>3 それぞれの歌について、読解・鑑賞をして話し合う。</p> <p><第4時></p> <p>4 掲載された短歌の中から印象に残った一首を選んで、感想文を書く。</p>	<p>【知技】</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思判表】</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>【主】 進んで短歌の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌にこめられた情景や心情を読み取るようとしている。</p>
<p>読む 雪の深さを【俳句】</p>	<p>・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像</p>	<p><第1時></p> <p>1 五・七・五の定型・季語・切れ(切れ字)・取り</p>	<p>【知技】</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p>

<p>P 54 4 時間</p>	<p>力を働かせて句の主題を読み取る。</p>	<p>合わせなど俳句の基礎知識，概念を確認し，知っている俳句・俳人などを発表し合うことで，俳句に対して興味を持つ。</p> <p><第 2 時> 2 掲載された俳句を音読し，リズムを味わう。</p> <p><第 3 時> 3 それぞれの句について，読解・鑑賞をして話し合う。</p> <p><第 4 時> 4 掲載された俳句の中から印象に残った一句を選んで，感想文を書く。(手引き 4)</p>	<p>ア 言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>カ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思判表】</p> <p>A 書くこと(1) イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類，構成，展開や，文体，描写，語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>B 読むこと(1) ア 文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ 作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 ウ 文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。</p> <p>B 読むこと(2) ア 我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論，随筆などを読み，我が国の言語文化について論述したり発表したりしている。</p> <p>【主】 進んで俳句の特徴や表現効果を理解し，学習課題に沿って，それぞれの句の主題を読み取ろうとしている。</p>
<p>読む 折々のうた</p> <p>P 154 4 時間</p>	<p>・ 詩歌に表れたものの見方，感じ方，考え方を読み取る。</p>	<p><第 1 時> 1 『万葉集』について，概略を理解する。 2 「淡海の海…」 「春の苑…」 の歌を音読し，現代語訳する。 3 筆者は，これらの歌のどのような点について解説しているか，考える。 4 『古今和歌集』について，概略を理解する。</p> <p><第 2 時> 5 「五月待つ…」 「秋来ぬと…」 の歌を音読し，現代語訳する。 6 筆者は，これらの歌のどのような点について解説しているか，考える。 7 『新古今和歌集』について，概略を理解する。 8 「梅の花…」 「志賀の浦や…」 の歌を音読し，現代語訳する。 9 筆者は，これらの歌のどのような点について解説しているか，考える。</p> <p><第 3 時> 10 「志賀の浦や…」 の歌は，本歌とどのような違いがあるか，考える。 11 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』における詠みぶりの違いを考える。 12 『梁塵秘抄』『閑吟集』について，概略を理解する。 13 「舞へ舞へ蝸牛…」 「思へど思はぬ…」 の歌謡を音読し，現代語訳する。</p> <p><第 4 時> 14 筆者は，これらの歌のどのような点について解説しているか，考える。 15 二つの歌謡に見られる表現のおもしろさについて</p>	<p>【知技】</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>エ 文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>A 書くこと(2) ア 本歌取りや折句などを用いて，感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり，伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで，随筆などを書いたりしている。</p> <p>B 読むこと(1) ア 文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ 作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 ウ 文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。</p> <p>オ 作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>B 読むこと(2)</p>

		<p>て話し合う。</p> <p>16をもとに、発表し合う。</p>	<p>ア 我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論、随筆などを読み、我が国の言語文化について論述したり発表したりしている。</p> <p>[主] 進んで、和歌や歌謡における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。</p>
<p>書く</p> <p>〔言語〕短歌を作る</p> <p>P 167</p> <p>3時間</p>	<p>・自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って短歌にし、効果的に書く。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「本歌取り」の技法について確認する。</p> <p><第2時></p> <p>2 Aに倣い、「君がため」「わが」「つつ」を用いて、フレーム短歌を作り、推敲する。(課題1)</p> <p>3 Bに倣い、「くるしみは……時」「たのしみは……時」「かなしみは……時」などの形でフレーム短歌を作り、推敲する。(課題2)</p> <p><第3時></p> <p>4 課題1・2で作った短歌を短冊に書き、作品に仕上げる。(課題1～3)</p> <p>5 作品を貼り出す、コピーして配布するなどして、表現の仕方などについて互いに批評し合い、話し合う。</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>A 書くこと(1)</p> <p>イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>A 書くこと(2)</p> <p>ア 本歌取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりする活動。</p> <p>B 読むこと(2)</p> <p>オ 古典から受け継がれてきた詩歌や芸能の題材、内容、表現の技法などについて調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりしている。</p> <p>[主] 進んで短歌の構成や語句などの表現の仕方を工夫し、学習課題に沿って、自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って効果的に書こうとしている。</p>
<p>読む</p> <p>絶句と律詩一七首</p> <p>P 228</p> <p>4時間</p>		<p><第1・2時></p> <p>【鹿柴】【春暁】【黄鶴楼送孟浩然之広陵】</p> <p>1 それぞれの詩の詩形と押韻を確認する。(手引き3・漢文の窓2)</p> <p>2 それぞれの詩を音読し、書き下す。</p> <p>3 展開に注意して現代語訳し、「自然をうたう」という章立てを意識しつつ、うたわれている状況を考える。</p> <p>4 「自然をうたう」という章立てを意識しつつ、それぞれどのような心情がうたわれているかを考える。</p> <p>5 孟浩然と幸田露伴の「春暁」(229ページ)を読み比べて、類似点や相違点を考える。(言語活動)</p> <p><第3・4時>【贈汪倫】【涼州詞】【春望】</p> <p>1 それぞれの詩の詩形と押韻を確認する。</p> <p>2 それぞれの詩を音読し、書き下す。</p> <p>3 展開に注意して現代語訳し、「友情をうたう」という章立てを意識しつつ、うたわれている状況を考える。</p> <p>4 「友情をうたう」という章立てを意識しつつ、それぞれどのような心情がうたわれているかを考える。(手引き2)</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p> <p>ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>B 読むこと(2)</p> <p>イ 作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。</p> <p>ウ 異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比</p>

			<p>べ、それらを比較して論じたり批評したりしている。</p> <p>[主] 進んで漢詩の形式ときまりを理解し、学習課題に沿って、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。</p>
<p>書く 〈漢詩と日本文学〉 P 234 1 時間</p> <p>訳詩を書く P 235 2 時間</p>	<p>・漢詩とそれを踏まえた古文を読み、漢文が日本文学に与えた影響について知る。</p> <p>・元の漢詩の魅力が効果的に伝わるように、表現を工夫して訳詩を書く。</p>	<p><第1時></p> <p>1 漢文を踏まえた日本文学について、概略を理解する。</p> <p>2 「香炉峰下、…」と「雪のいと高う降りたるを」を音読し、内容を捉える。</p> <p>3 「雪のいと高う降りたるを」が、どのように漢詩を踏まえているか考える。</p> <p>4 「雪のいと高う降りたるを」が漢詩を踏まえていることの意味や効果について考える。</p> <p><第2・3時></p> <p>1 235 ページの三つの訳詩を読み比べ、表現上の特質について気づいたことを話し合う。(課題①)</p> <p>2 好きな漢詩を選んで書き下し文に直し、内容を確認して具体的にイメージを膨らませる。(課題② 1・2)</p> <p>3 自分の言葉で訳詩を書き、推敲する。(課題② 3・4)</p> <p>4 訳詩を読み合い、表現の工夫などについて批評し合う。</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p> <p>ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>A 書くこと(1)</p> <p>ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</p> <p>イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>[主] 進んで作品の歴史的・文化的背景や他の作品との関係を理解し、学習課題に沿って、漢文が日本文学に与えた影響について考えようとしている。</p>
<p>読む 羅生門〔言語〕 P 72 5 時間</p>	<p>・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。</p>	<p><第1時></p> <p>1 全文を通読し、時代背景を確かめる。</p> <p>2 場面の変化に注意して、本文全体を四つの意味段落に分ける。</p> <p>3 第一段を読み、「下人」の内面の状態をまとめる。</p> <p><第2時></p> <p>4 「作者」の説明に従って、「下人」の行動を順を追って整理する。</p> <p>5 「下人」の内面の変化を順を追って整理する。</p> <p>6 第二段を読み、「下人」の目が捉えた「羅生門」の楼上の情景を整理する。</p> <p><第3時></p> <p>7 「下人」と「老婆」について、比喩で表現した箇所を抜き出し、比喩の効果について考え、まとめる。</p> <p>8 第三段、第四段を読み、「下人」と「老婆」の行動を順を追って整理する。</p> <p>9 「なるほどな、……大目に見てくれるである。」に述べられた「老婆」の主張について考え、それを聞いた「下人」が「引剥ぎ」をしようと思った理由を考える。</p> <p><第4時></p> <p>10 「下人」の内面の変化を、変化のきっかけと関連づけながら、整理する。(手引き 2・3-2・4)</p> <p>11 「黒洞々たる夜」という表現に留意して、「老婆」のその後について考える。</p> <p>12 「下人の行方は、誰も知らない。」という終わりを踏まえて、「下人」がこの後、どうなったのかを想像し、話し合う。(手引き 5)</p> <p>13 小説の主題について、自分なりに考えて発表する。</p>	<p>[知技]</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>B 読むこと(2)</p> <p>イ 作品の内容や形式について、批評したり討論したりする活動をしている。</p> <p>ウ 異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動をしている。</p> <p>[主] 進んで本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。</p>

		<p><第5時></p> <p>14「老婆」の主張についてどのように考えるか、賛成、反対の立場に分かれて討論する。(言語活動1)</p> <p>15「下人」と「老婆」の会話を、それぞれの人物になったつもりで、役割読みする。(言語活動2)</p>	
<p>読む</p> <p>〔言語〕元になった古典作品と読み比べよう</p> <p>P 88</p> <p>3時間</p>	<p>・古典を元にして作られた作品と、元の作品を読み比べ、理解を深める。</p>	<p><第1時></p> <p>1 古典作品を元に書かれた作品について理解する。</p> <p>2 原作(89 ページ)の本文のA～Dについて、「羅生門」で対応する箇所を探し、88 ページの(1)～(3)のいずれに該当するか考える。</p> <p>3 2をもとに原作と「羅生門」を比較し、「羅生門」で省略・変更されている点が果たす役割について考える。</p> <p><第2時></p> <p>1 原作の波線ア～エについて、「羅生門」で対応する箇所を探し、88 ページの(1)～(3)のいずれに該当するか考える。(課題1)</p> <p>2 1で検討した中から、重要だと思うものを選び、「羅生門」の創作性にとってどのような意味を持つか、自分の考えをまとめ、話し合う。(課題2)</p> <p><第3時></p> <p>3 原作の後半部分(92 ページ)の波線オ～ケについて、「羅生門」で対応する箇所を探し、88 ページの(1)～(3)のいずれに該当するか考える。(課題3)</p>	<p>【知技】</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>B 読むこと(2)</p> <p>ウ 異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動をしている。</p> <p>【主】 進んで古典を元にして作られた作品についての理解を深め、学習課題に沿って、古典を元にして作られた作品と原作との違いや創作性について考えようとしている。</p>
<p>読む</p> <p>史話―三編</p> <p>P 248</p> <p>4時間</p>	<p>・話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。</p>	<p><第1時></p> <p>1 これまでに読んだ中国古典の史話の中でおもしろかったもの、印象に残ったものを発表する。</p> <p>2 教科書の注釈や「中国文学史年表」などを参考にし、『三国志』について概略を理解する。</p> <p>【曹公戦於白馬】</p> <p>3 本文を音読し、書き下し文にする。</p> <p>4 脚注を参照して現代語訳し、内容を理解する。</p> <p>5 荀攸の作戦がどのようなものだったか、順を追って整理し、まとめる。</p> <p><第2時></p> <p>【曹公以関羽為義】</p> <p>6 本文を音読し、書き下し文にする。</p> <p>7 脚注を参照して現代語訳し、内容を理解する。</p> <p>8 曹操が側近に対して「勿追也」と言った理由を、「曹公義之」をもとに考え、話し合う。</p> <p><第3時></p> <p>【魏武捉刀】</p> <p>9 本文を音読し、書き下し文にする。</p> <p>10 脚注を参照して現代語訳し、内容を理解する。</p> <p>11 「帝自捉刀立牀頭。」という行動から、どのような意図が読み取れるか、考える。</p> <p><第4時></p> <p>12 魏武が匈奴の使者を殺させた理由について考える。</p>	<p>【知技】</p> <p>言葉の特徴や使い方に関する事項(1)</p> <p>ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p> <p>イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>A 書くこと(1)</p> <p>ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</p> <p>A 書くこと(2)</p> <p>他 上記以外の言語活動</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>B 読むこと(2)</p> <p>ウ 異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動。</p> <p>【主】 進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、史話のおもしろさを味わおうとしている。</p>
<p>書く</p> <p>〔言語〕『三国志』の英雄ポスターを</p>	<p>・好きな人物を選び、調べて得た情報を的確に整理して、人物像が</p>	<p><第1時></p> <p>1 歴史書の『三国志』と歴史小説の『三国志演義』との関係や、両者の違いなどについて理解する。</p>	<p>【知技】</p> <p>我が国の言語文化に関する事項(2)</p> <p>ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化</p>

<p>作る</p> <p>P254 4時間</p>	<p>伝わるポスターを作る。</p>	<p>2 どのようなポスターにするかをイメージする。 (課題1)</p> <p><第2・3時></p> <p>3 取り上げる人物を決めて、その人物についてのエピソードや評価などを調べる。(課題2)</p> <p>4 集めた情報を整理し、キャッチフレーズを考えるなどして、ポスターにまとめる。(課題3)</p> <p><第4時></p> <p>5 ポスターを読み合い、気づいたことを伝え合う。 (課題4)</p>	<p>との関係について理解している。</p> <p>イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>A 書くこと(1)</p> <p>ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</p> <p>A 書くこと(2)</p> <p>他 上記以外の言語活動</p> <p>B 読むこと(1)</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>B 読むこと(2)</p> <p>オ 古典から受け継がれてきた詩歌や芸能の題材、内容、表現の技法などについて調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりしている。</p> <p>【主】 進んで調べて得た情報を的確に整理し、学習課題に沿って、人物像が伝わるポスターを作ろうとしている。</p>
-------------------------------	--------------------	---	---

令和5(2023)年度 3年現代文B シラバス

教科名	国語	科目名	現代文B	対象学年	3年 全コース
単位数	2単位	教科書	明解現代文B 改訂版 (三省堂)		

◎指導の目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。また、互いの意見を尊重し、自分の主張を根拠に基づいて述べたり話したりする力を身につけさせる。

◎評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
授業へ積極的に参加し、グループワーク等における役割を熱心に果たすことなど、国語を理解し表現する力を向上させている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりすることで、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やさまじりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

◎評価の方法

各単元において適宜行われた小テストや課題、レポート、その他の提出物や定期考査の成績を総合して評価する。

◎授業計画

学 期	単元・教材名	学習内容	評価の観点					配 当 時 数	実 施 時 数
			関 心 意 欲 態 度	話 す 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 理 解		
一 学 期	1 随想 一 「春の小川の思い出」 さくらももこ 「千年の時が与えてくれる安堵」 小川洋子 ブックガイド1	○幼い頃の思い出をとおして描かれる、友達との交流の様子を読み取る。 ○筆者が指摘する『枕草子』の現代に通じる感性や思考はどのようなことか考える。 ○具体例とそれらに対する考え方との関係を捉えながら、筆者の意図を読み取る。	○			◎	○	4	
	2 小説 一 「山椒魚」 井伏鱒二 「ピクニックの準備」 恩田陸 日本語ストレッチ3 長い文をわかりやすくする	○閉じ込められた主人公と、外の動物との交流による思いの変化を読み味わう。 ○一人称の語りから、「ピクニック」や三人の登場人物それぞれに対する心情を読み取る。 ○小説の構成を明らかにするとともに、優れた表現・文体を捉える。	○		○	◎	○	5	

	3 評論 一 「科学的とはどういう方法か」 森博嗣 「ホンモノのおカネの作り方」 岩井克人 日本語ストレッチ4 さまざまな文を整える ・意見文を書こう	○評論文における文章の構成と、論の組み立て方を明らかにする。 ○具体例を明らかにしながら、構成にしたがって論理を捉える。 ○「科学」「ホンモノ」というキーワードを手掛かりにして、筆者の主張や考えを理解する。 ○構成メモにしたがって、自己の主張を文章で表現する。	○				◎	○	5	
	4 詩 「ユメカサゴ」 吉原幸子 「永訣の朝」 宮沢賢治 ブックガイド4	○「ユメカサゴ」の姿を想像し、「ユメ」とは何なのかを考えながら詩を味わう。 ○「いもうと」のために何をするのか「わたくし」の気持ちになって詩を味わう。	○	◎			◎	○	4	
	5 俳句 「ノートの先に海 俳句十二首」	○繰り返し音読してリズムを味わい、俳句に詠まれた情景や心情を豊かに想像する。 ○俳句を創作し、それぞれの俳句に表現された感動の中心を捉えて鑑賞文を書く。	○	◎	○		◎	○	4	
	6 話す・聞く 自己PRをしよう 日本語ストレッチ5 敬語①	○自分の良さをどのようにアピールし伝えていくか、活動の手順を追いながら体験する。	○	◎	○				3	
二期	7随想二 「コモリン岬」 見田宗介 「なまけものコンプレックス」 別役実 日本語ストレッチ6 敬語②	○自身の経験と関係づけながら筆者の考えの変化を読み解く。 ○「逆説」「比喩」などを多用した、独特な表現方法の効果を理解する。	○	○	○		◎	◎	4	
	8 小説二 「山月記」 中島敦 日本語ストレッチ7 敬語③	○主人公の生き方や人間の運命について考えを深める。 ○漢文調の文章を味わうとともに、人物の言動から人物像を明らかにする。	○	○			◎	○	8	
	「魚の餌」 梅崎春生 ブックガイド5 ・読書感想文を書こう	○場面の展開を明らかにし、登場人物の言葉に込められたものの見方、考え方、感じ方などを読み取る。 ○物語という形式をとおして語られる、登場人物の心情の変化や人間どうしのつながりを読み味わう。 ○自分が読み取ったことを、言葉で的確に伝える工夫をする。	○				◎	○	6	
三期	9 評論二 『『自由』のはき違い』 鷺田清一 日本語ストレッチ8 敬語④	○私たちにとってあるべき「自由」について、考えを深める。 ○言葉の定義を確かにして文脈を読み取る。	○	○	○		◎	○	6	
	「かけがえのない未来」 養老猛司 ブックガイド6	○「時間」や「未来」とは何かについての確認をとおして、「現在」の在り方を考える。 ○問題提起と、それに対する答えという対応を明らかにして、文章の主旨を読み取る。	○	○	○		◎	○	5	

期	10 状況と人間 「十五歳の東京大空襲」 半藤一利 日本語ストレッチ 9・10 敬語⑤⑥	○戦争の状況を捉え、平和について考えを深める。 ○文章表現における語句の使い方を吟味し、的確な描写を味わう。	○	○		◎	○	9	
	11 自分の意見を書こう	○お薦め本を、書店で見るポップの形で紹介することにより、相手や目的に合った情報の発信の仕方について理解を深める。	○	◎	◎		○	3	

令和5年度 3年古典B シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
古典B	2	3学年 全コース	大修館書店『新編古典B 改訂版』古文編 I

1.学習到達目標など

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めるとともに現代との共通性や変化を意識することで、人生を豊かにする態度を育てる。また、互いの意見を尊重し、自分の主張を根拠に基づいて述べたり話したりする力を身につけさせる。

2.学習計画、及び評価基準など

月	単元名	教材	領域(時間)			主な学習の目標 (評価基準)	評価の観点					評価方法等	
			A (話すこと・ 聞くこと)	B (書くこと)	C (読むこと)		関心・ 意欲・ 態度	話す・ 聞く 能力	書く 能力	読む 能力	知識・ 理解		
4	古1 知恵の働き ——説話	・沙石集 児の飴食ひたること		1	4	・説話文学のおもしろさを味わい、古人のものの見方や考え方に触れる。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)	
		古典の窓7 落語と笑い話		2		・古典落語について関心を深める。	○				◎	・観察、レポート	
5	古1 知恵の働き ——説話	・宇治拾遺物語 十二の「子」文字			4	・短編の説話物語を読み、敬語に注目するとともに表現のおもしろさを味わう。	○			◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)	
		◎古典の窓7 落語と笑い話		1	1	・さまざまな教材を読み比べることで、「おもしろさ」の定義について考える。	○		○	○	○	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)	
6	漢1 説得の技 ——逸話	子罕弗受玉				・漢文訓読のリズムを身に付ける。	○				◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)
		先従隗始			6	・それぞれの逸話に登場する人物像を的確に捉える。	○				○	◎	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)
						・巧みな論理の展開による説得の技を理解する。	◎				○	○	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)
7	漢2 人生と社会 ——詩文	桃夭 飲酒 (参考)『草枕』 子夜呉歌 石壕吏 雑説			6	・繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。	○				◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)
						・作品を暗誦することを通して理解を深める。	○				○	◎	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)
						・原詩・原文の表現に即して、できるだけ忠実に解釈する。	○				○	◎	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)
				1	1	・生徒それぞれが作品の理解をどの程度になし得たかを確かめる。	○	○			○	◎	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)
9	古5 愛の始まり ——物語	・源氏物語 桐壺 若紫			4	・平安時代の長編物語に触れ、繰り返し音読することで物語の文体になじむ。	○				◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)
					4	・登場人物の移動に着目し、大意や要旨をつかむ。	○				◎	◎	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)
		●古典の窓9 『源氏物語』の影響—日本的な美		3		・「源氏物語」の後世への影響について知る。	○					◎	・観察、レポート

11	漢3 英雄の物語(二) ——『三国志』	水魚の交わり 劉備の死 諸葛亮の死			・長い文章に慣れ、漢文を読解し鑑賞する能力を高める。	○			◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)	
					・さまざまな人物像を通して、人間の生き方についての考えを深める。	◎			○	○	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)	
					・登場人物の関係を理解し、世界史で学習した事柄との繋がりを理解する。	○				○	◎	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)
					・歴史から生まれた故事成語を知り、現代生活の中での活用方法を考える。	○	○	○			◎	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)
		●古典の窓14 出師の表	1	1	・諸葛亮のねらいや想いを理解する。	○	○	○	○	○	◎	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)
12	古3 歴史と人間 ——歴史物語	・大鏡 道真左遷 競べ弓 鶯宿梅			・物語の構成に注意し、歴史物語としての特色について理解を深める。	○			◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)	
					・登場する人物の人物像や心情を読み取る。	○			◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)	
1	古4 女性の視点 ——日記	・紫式部日記 紫式部日記[和泉式部と清少納言]			・日記に書かれた作者の思いを読み取る。	○			◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)	
		・蜻蛉日記 町の小路の女			・平安時代の女性の立場や宮内での役割などについて認識を深める。	○			◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)	
2	漢4 生きる知恵 ——道家・法家の思想	【自然に生きる】 無為而無不為 小国寡民 タオ——老子 渾沌 〈参考〉「東西の思想」			・古代思想家の考え方を理解し、理想の人間像と人間の本質について自らの考えを深める。	○			○	◎	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)	
		【厳格な法治】 侵官之害 〈参考〉職分を堅守せよ			・それぞれの思想の現代的な意義について考える。	○				○	◎	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)
			1	1	・人間のあり方や生き方、ものの見方や考え方について生徒各自が考え、比べる。	○	○	○			◎	・観察(発言・発表) ・ノート、ワークシート ・小テスト(→定期テスト)

令和5年（2023）年度 国語表現 シラバス

教科名	国語	科目名	国語表現	対象学年	3 学年
単位数	2 単位	教科書	教育出版 国語表現 I	改訂版	

◎ 指導の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力や、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

◎ 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えを深め発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め知識を身に付けている。

◎ 評価の方法

各単元に於いて適宜行われた小テストや課題、レポート、その他の提出物や定期考査の成績を総合して評価する。

◎ 授業計画

学期	単元・教材名	学習内容	評価の観点			配 当 時 数	実 施 時 数
			話 す 聞 く 能 力	書 く 能 力	知 識 理 解		
一 学 期	1 言葉に変える ステップ① 速く正確に書き写す	●「書くこと」の中でも最も基礎的な「視写」「聴写」を行い、自己の表現能力の実態を把握する	○	◎	○	1	
	ステップ② メモを取る・メモで伝える	●情報を取捨選択し、整理・記録するための基本的な技術を身につける。		◎	○	1	
	ステップ③ 絵を言葉にする	●絵や地図をことばに変える作業をとおして、ことばによる表現の可能性と限界を理解し、工夫の必要性を知る。		○	○	2	
	2 漢字と語彙 ステップ① 漢字の仕組みを探る	●漢字の構造や部分の働きを理解し、漢字の読みや意味を考察する。		○	◎	2	

一 学 期	ステップ② 語義を探る・語彙を広げる	●単語の意味を調べ、その変遷をたどること で、古代の人々のもののとらえ方にふれ、日 本語に興味をとともに、自らの語彙の拡充を 図る。	○	◎	2	
	ステップ③ 文字による表現	●文字による表現の特徴を理解し、効果的な 表記の方法を考えていく。	◎	○	2	
	3 声の表現					
	ステップ① 声を出そうー発声・発音	●呼吸の仕組みと腹式呼吸の方法について理 解し、発音に留意した声の出し方を学ぶ。	◎	○	1	
	ステップ② 文字を声に変える	●文の構造を把握し、その意味を伝える音読 の仕方、特に声の高低や間の工夫について学 ぶ。 ●古文の読み方について基本的な留意事項を 理解する。	◎	○	1	
	ステップ③ スピーチの方法	●スピーチのための事前の準備について理解 し、本番の体験をとおして、その方法を学 ぶ。	◎	○	2	
	4 人とつながる言葉					
	ステップ① 挨拶と人間関係	●挨拶が人間関係や社会生活にどのような影 響を及ぼしているかを理解し、自らの言語生 活を検証してみる。	◎	○	2	
	ステップ② 待遇表現ー敬語によ る コミュニケーション	●敬語が人間関係の調整や場の状況にどのよ うにはたっているか考え、自己表現として の敬語の使用方法を理解する。	◎	○	2	
	ステップ③ 励ます言葉・ 受け入れる言葉	●ことばの可能性と危険性についてさまざま な角度から理解するとともに、「聴く」こと の働きについて考察する。	◎	○	2	
5 言葉を楽しむ						
ステップ① 言葉遊びを楽しむ	●さまざまなことば遊びの体験をとおして、 言語表現の多様な側面を理解し、またその楽 しさを知る。	○	◎	2		
ステップ② 川柳を作る	●川柳という伝統的な文芸ジャンルについて 理解を深めるとともに、実作をとおして、こ とばのもつ批評性を知る。	○	◎	2		
ステップ③ 「二次創作」に挑戦する	●もとになる物語作品について理解を深め、 パロディーなどの二次創作に取り組む。	○		2		
二 学 期	6 文章表現の基礎					
ステップ① 連絡文の書き方	●記書きなどの理解をとおして、正確に伝達 するための文書の作成技術を身につけ、連絡 文書を書く。	◎	○	2		

二 学 期	ステップ② 効果的な説明の方法	●分かりやすい情報の配列や効果的な説明の手順を理解することで、工夫された伝達文や説明文を書く。	◎	○	2	
	ステップ③ 相手や目的に応じた文章	●二つの文章を比較して、相手や目的に応じた表現について理解し、実際に紹介文を書く。	○	○	2	
	7 小論文Ⅰ					
	ステップ① 意見を論理的に述べる	●小論文は根拠に支えられた意見を述べるものであることを理解し、具体的なトレーニングを通して意見と根拠を短文で書く。 ●与えられた論題から適切な問いを見つける方法を学ぶ。	◎	○	2	
	ステップ② セルフ・ディベート	●異論や反論を想定した意見提示の方法として紙上におけるディベートを行い、防衛力と説得力のある論理展開の仕方を学ぶ。	◎	○	2	
	ステップ③ 文章の「型」ー構成の方法	●文章構成のバリエーションを学ぶとともに、特に小論文の「型」としての三段構成の特徴を理解する。	◎	○	2	
	ステップ④ 構成ノート	●文章執筆のための設計図としての「構成ノート」を理解し、実際に作成してみることで小論文執筆の準備の仕方を学ぶ。	○	○	2	
	ステップ⑤ テーマ型小論文の実際	●テーマ型小論文の特徴を知り、「問い」と「答え」と「根拠」に着目しながら実際に執筆する。	◎	○	2	
	ステップ⑥ 文章のリフォームー推敲	●書き上げた文章を推敲するときの観点を具体的に学び、典型的な悪文について理解を深めることで、他者に理解されやすい文章の書き方を学ぶ。	◎	○	2	
	8 プレゼンテーションの方法					
ステップ① プレゼンテーションの実際	●プレゼンテーションの流れについて理解し、説得力のある話し方の技術について学習する。 ●自分広告を作り、テーマと内容について工夫したり、プレゼンテーションの実際例をもとに、全体の構成の方法や効果的な話し方の技術を習得したりする。	◎	○	○	2	
ステップ② プレゼンテーションの技術	●総合的な音声言語表現であるプレゼンテーションの表現要素、評価の観点、情報の視覚化の方法について学習する。	○		◎	2	
ステップ③ スライドを使ったプレゼンテーション	●情報の視覚化の方法として、プレゼンテーション・ソフトによるスライドの作成について理解し、それを使用して実際に行ってみる。	○		◎	2	

二 学 期	9 面接—社会との接点 ステップ① 自己を分析する	●自己分析をとおして自分を理解し、自己アピールを作成する。		○	◎	2	
	ステップ② 質問と応答のレッスン	●実際の面接の場面を想定し、伝える話し方について理解して、面接における心構えと技術を習得する。	◎		○	2	
	ステップ③ 模擬面接をする	●模擬面接をとおして、面接の基本事項を学び、実践力を身につける。	◎		○	2	
	10話し合いの方法 ステップ① 目的に応じた話し合い	●話し合いの目的に応じてなされている工夫を理解し、アイデアの出し方や原案の作り方を習得する。		○	◎	1	
	ステップ② デイバートの方法1	●デイバートの流れときまりについて確認し、論題についての調査から立案までの方法を学ぶ。		○	◎	1	
	ステップ③ デイバートの方法2	●実際の流れにそって、デイバートにおけることばの用い方や発言の技術を学び、デイバートを実践する。	◎		○	1	
ステップ④ 意思決定・合意形成のための会議	●家族会議の記録を題材にして、意思決定や合意形成の方法やルールについて理解する。	◎		○	1		
三 学 期	11メディア・リテラシー ステップ① メディアの特性を知る	●言語と画像について、メディアとしての特徴を知り、表現手段としての性質を理解する。	○		◎	2	
	ステップ② 新聞記事を読み比べる	●同一の対象についての記事でもその表現内容に違いが現れることを理解し、メディアが立場の違いをメッセージに反映させていることを理解する。	○		◎	2	
	ステップ③ 広告というメディアを読む	●広告におけるAIDMAの法則について理解し、実際の広告を分析して、表現上の工夫を確認する。	○		◎	2	
	12社会にはたらきかける表現 ステップ① 外に踏み出す第一歩 ポップを作ろう	●ポップ作りをとおして、人をひきつける情報発信の手法を学習する	◎		○	2	
	ステップ② 自分の世界を伝える 見る人の心をつかむスライド作り	●学校紹介のスライド作りをとおして、受け手の五感に訴える表現の仕方を学ぶとともに、情報発信の際のさまざまなルールを理解する。	◎		○	2	

計 70時間